



WORKWITHPLUS
FOR WEB

リリースノート

バージョン:	14
更新日:	2021年1月7日
互換性:	GeneXus 17

概要

4 つの新しいベースのデザインシステム	4
Yangtze デザインシステム	4
Arapey デザインシステム.....	5
ランディング: Congo	6
ランディング: Purus.....	8
グリッドの強化.....	10
グリッドの列の固定	10
グリッドの列の並べ替え	13
グリッドの列のサイズ変更.....	16
[列の選択] のドロップダウンの改善	16
通知およびサブスクリプション.....	17
ディスカッション.....	18
IDE とリアルタイムプレビューの改善	19
DVelop Combo ユーザーコントロールの改善.....	21
グリッド内での DVelop Combo の使用.....	21
Auto DVelop Combo.....	22
より複雑なスタイルでの項目の表示	23
項目の自動ドロップアップ/ドロップダウン.....	25
Web パネルに新しいレコードを追加するオプション	25
デザイン システム ウィザードの改善	26
実行モード (基本または詳細).....	26

基本設定:	26
詳細設定	27
ウィザードのインテリジェントな再実行	27
必要なオブジェクトのみをインポート	28
WorkWithPlus for Web 設定のプロパティの維持	29
デザイン システム ウィザードの新しいプロパティ	29
項目属性/変数のポップオーバー	32
ユーザーアクションでのドロップダウンによる Web コンポーネントの表示	33
ユーザーアクションでのポップアップによる Web コンポーネントの表示	34
[Confirm] 機能における確認フィールド	34
自動化の改善	35
グローバル イベント ブロック	35
[Global variables (Not included in Web Form)]	36
グローバルルール	38
[Global automatic conditions]	39
特定のイベントブロックをグローバル イベント ブロックに移動するアクション	40
Excel ファイルと CSV ファイルのデータのインポート	41
User Control 2.0 を使用したアクションの表示	43
日付、日時、範囲の各フィールドの新しいユーザーコントロール	47
レポートテンプレートのイベントブロックと変数	49
項目属性/変数の書式のコピー/貼り付け	49
項目属性を変数に変換する	51



List のオブジェクトにて Extra グリッドの追加	51
グリッドの項目属性の [Visible Condition] プロパティ	53
フィルタの [Visible Condition] プロパティとセキュリティ	53
[Select All Pages] プロパティでの全ページのレコード選択をサポート	53

WorkWithPlus 14

新機能

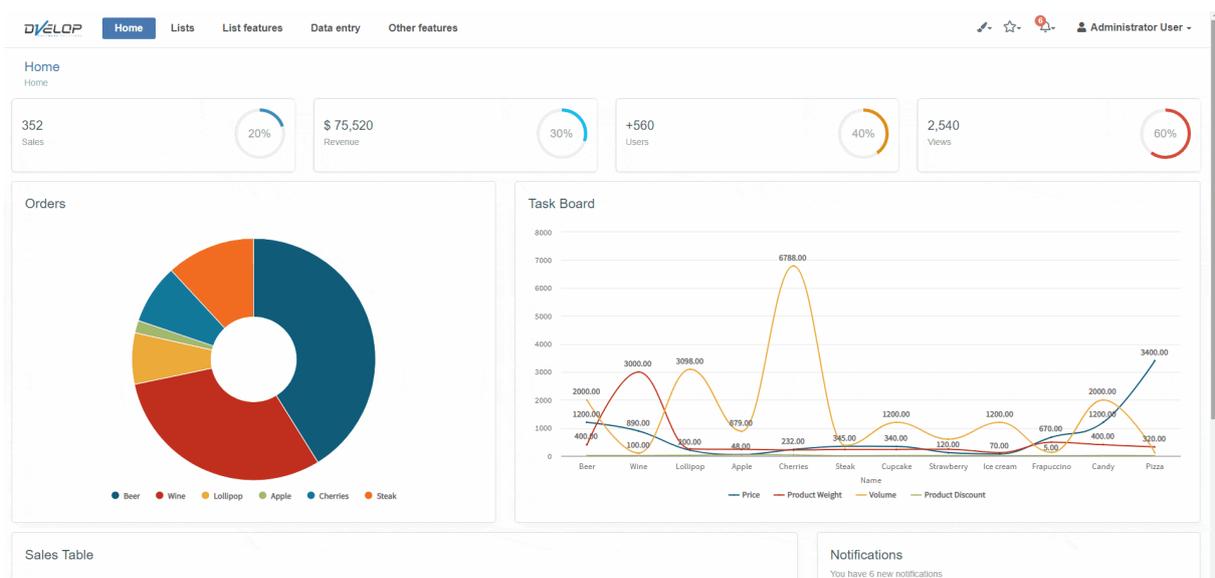
4つの新しいベースのデザインシステム

アプリケーション独自のデザインシステムを作成する際の選択肢をより多く用意するため、Arapey、Yangtze、Congo、Purus という 4 つの新しいベースのデザインシステムが追加されました。

Yangtze デザインシステム

このデザインシステムでは、数値カードと円形のプログレスバーを備えたダッシュボードを利用することができます。また、横型メニューと白い背景を基調とした新しいスタイルも含まれています。項目属性/変数のデスクリプションは、入力フィールドの上にフローティングラベルで表示されます。

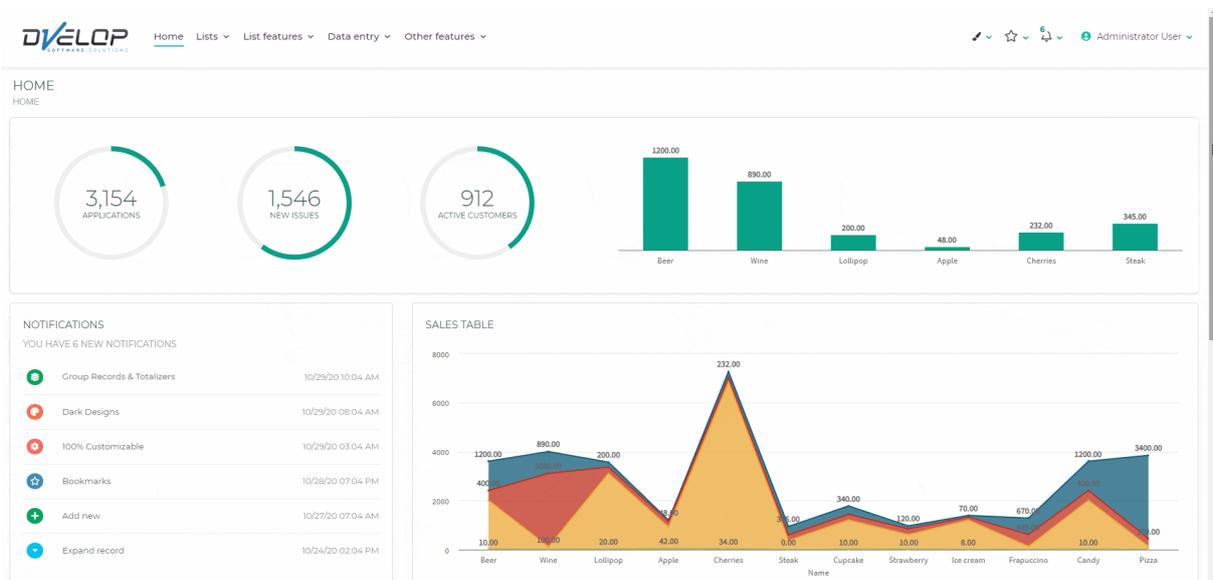
タイトルの下にはパンくずリストがあります。



Arapey デザインシステム

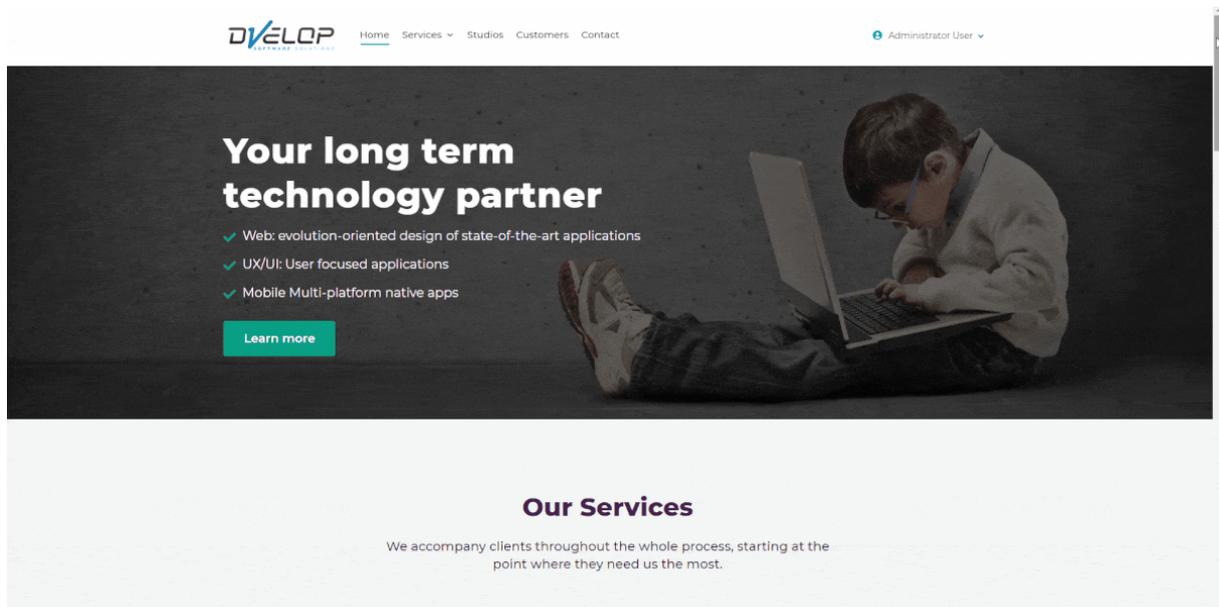
このデザインシステムでは、ブックマークと、数値カードと円形のプログレスバーを備えたダッシュボードを利用することができます。また、Montserrat フォントと白い背景を基調とした固定の横型メニューも含まれています。タイトルはすべて大文字で表記されます。項目属性/変数のデスクリプションは、入力フィールドの左に表示されます。

タイトルの下にはパンくずリストがあります。



ランディング: Congo

新しいランディング デザイン システムが追加されました。このデザインシステムには、ランディングホームがあり、複数のコントロールを備え、次の画像に示すようにさまざまな背景が用意されています。また、セクションを使用した大きなフッターもあります。



さらに、このランディングシステムを選択した場合は、アプリケーションのセカンダリーページの例として使用できる別のページがインポートされます。



Leave a message, we endeavor to answer all inquires within 24 hours on bussiness days

All fields are required

Full Name

Email Address

Phone Number

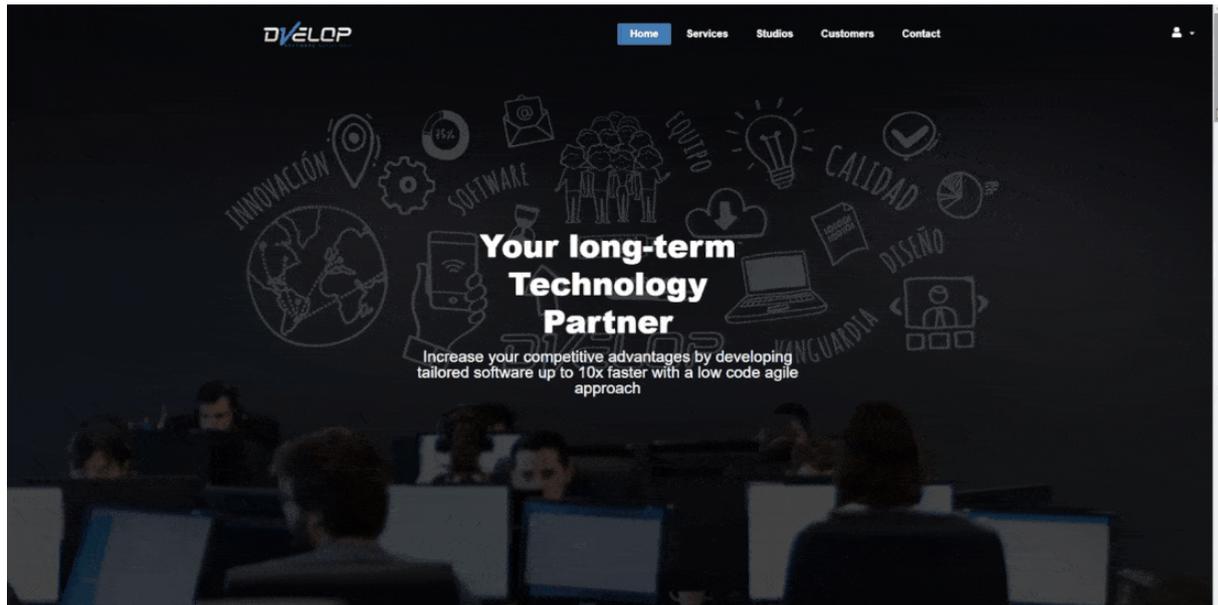
Subject

Message

[Get in touch](#)

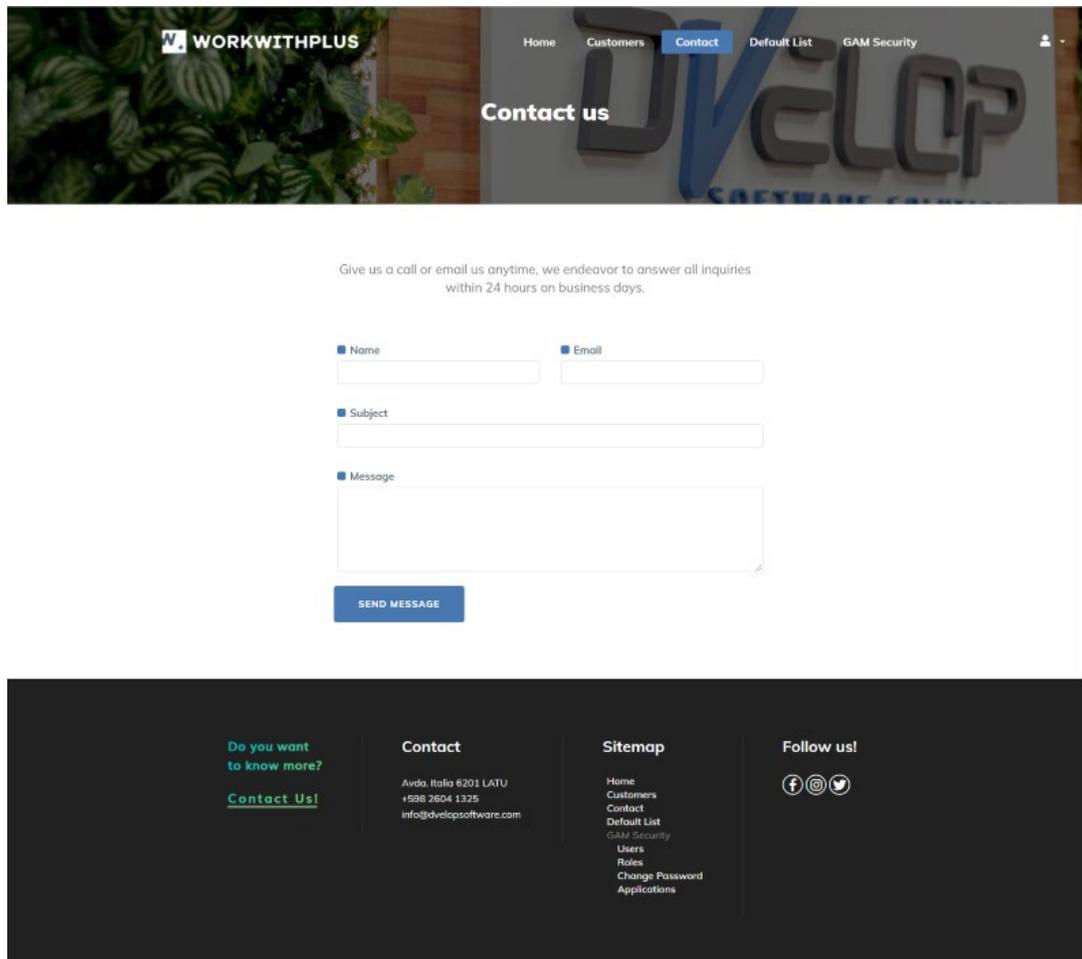
ランディング: Purus

新しいランディング デザイン システムが追加されました。このデザインシステムには、ランディングホームがあり、複数のコントロールを備え、次の画像に示すようにさまざまな背景が用意されています。また、セクションを使用した大きなフッターもあります。

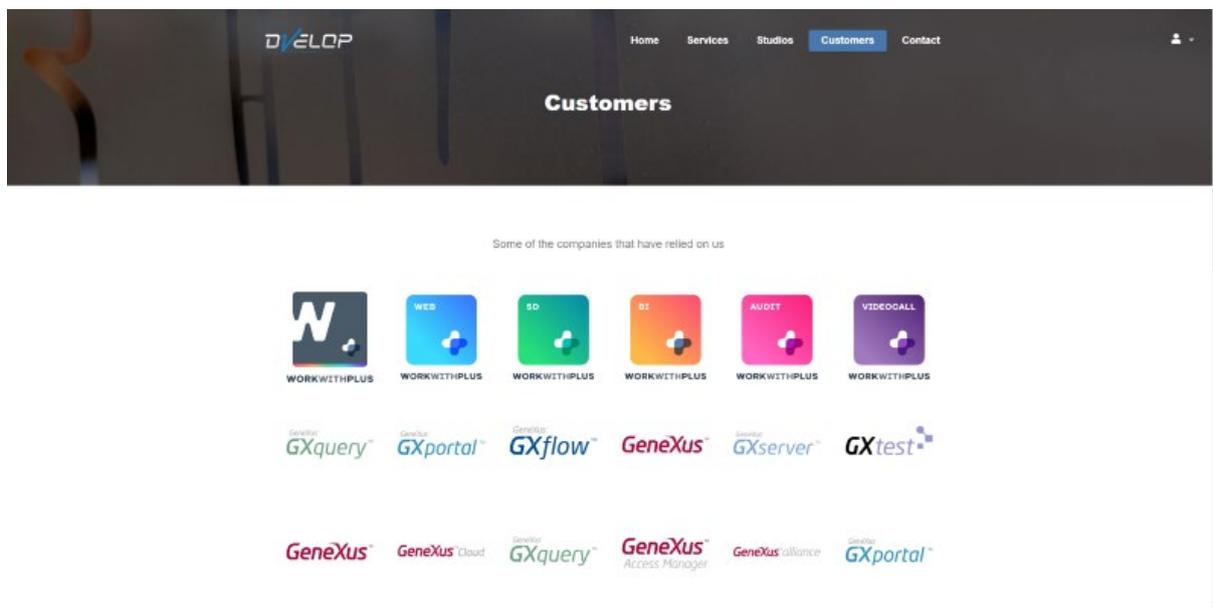


このほかに 2 つ、「お問い合わせ」ページのサンプルと「顧客」という名前のページもあります。最後のページの目的は、アプリケーションのその他のページで使用されるヘッダーのサンプルを開発者に提供することです。

お問い合わせページ



顧客ページ



このデザインシステムには、(リスト、トランザクションで使用するための) バックエンドテンプレートもあり、ウィザードでこれらのページのプロパティを構成できます。

グリッドの強化

グリッドを強化し、生成されるアプリケーションのユーザーエクスペリエンスを高めるため、グリッド関連の機能セットが追加されました。

これには次のようなものがあります：

- 列の固定
- 列の並べ替え
- 列のサイズ変更
- [列の選択] のドロップダウンの改善

注: WorkWithPlus for Web 14以降では、フリー スタイルグリッドとしてのColumns Selectorは廃止されています (そのため使用できません)。その代わりに、強化されたグリッドの新機能では、列の並べ替えとレスポンシブ標準グリッドがサポートされています。

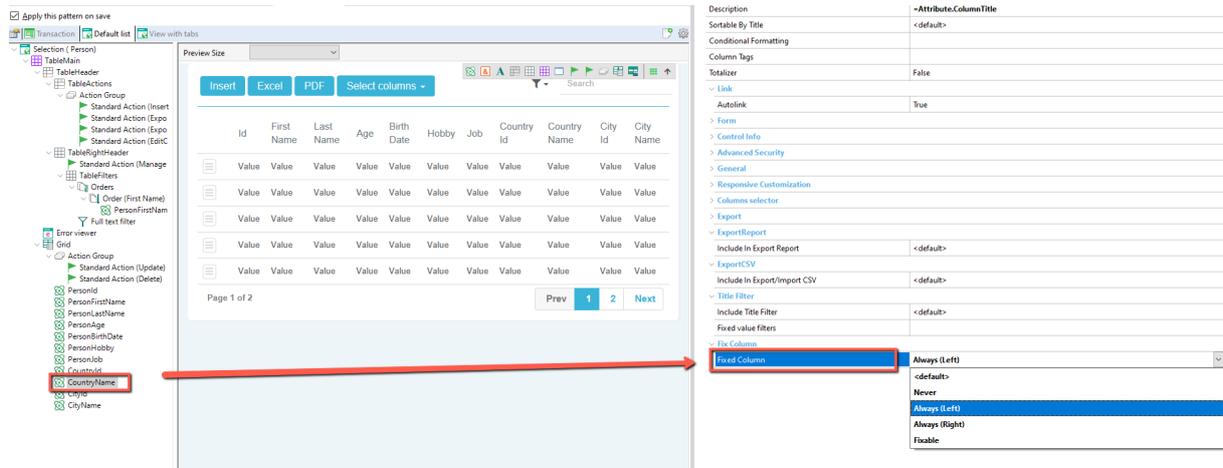
グリッドの列の固定

WorkWithPlus for Web 14 では、グリッドの列を固定できます。

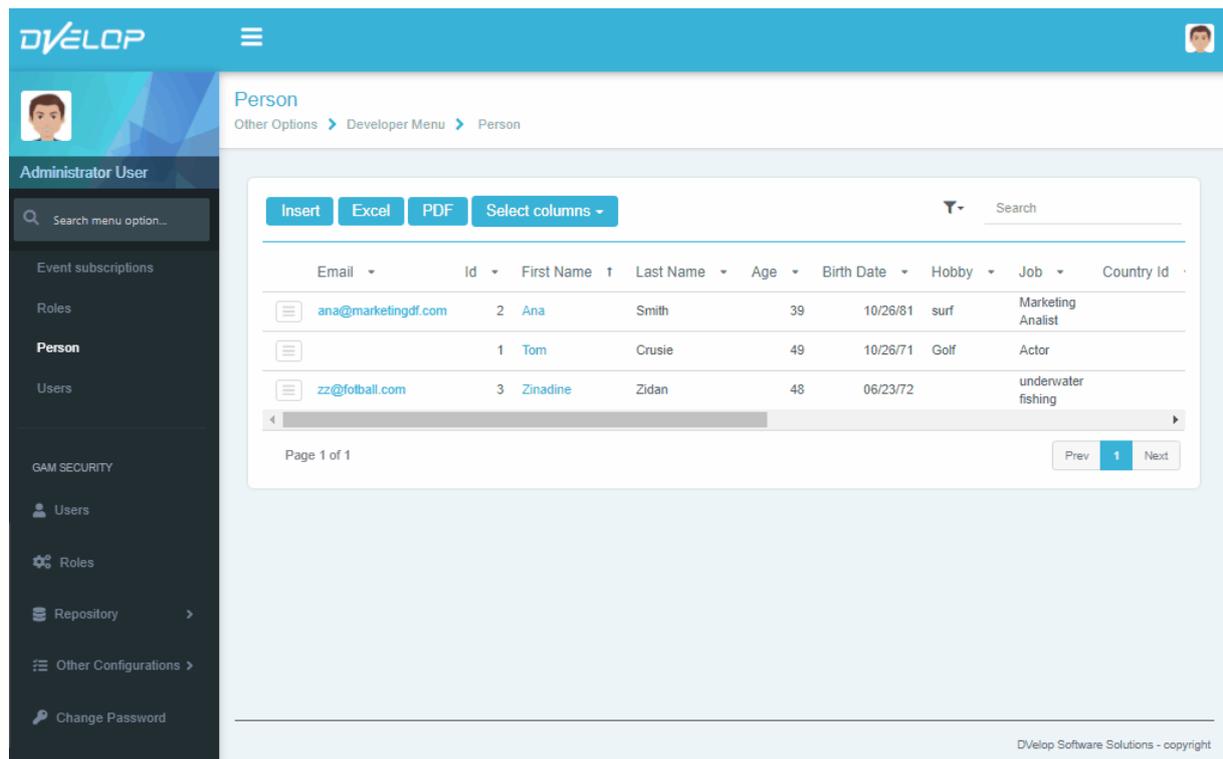
有効な値は次のとおりです：

- [Never]
- [Always (Left)]
- [Always (Right)]
- [Fixable]

列を固定する方法はいくつかありますが、その 1 つが、次のようにプロパティから行う方法です。

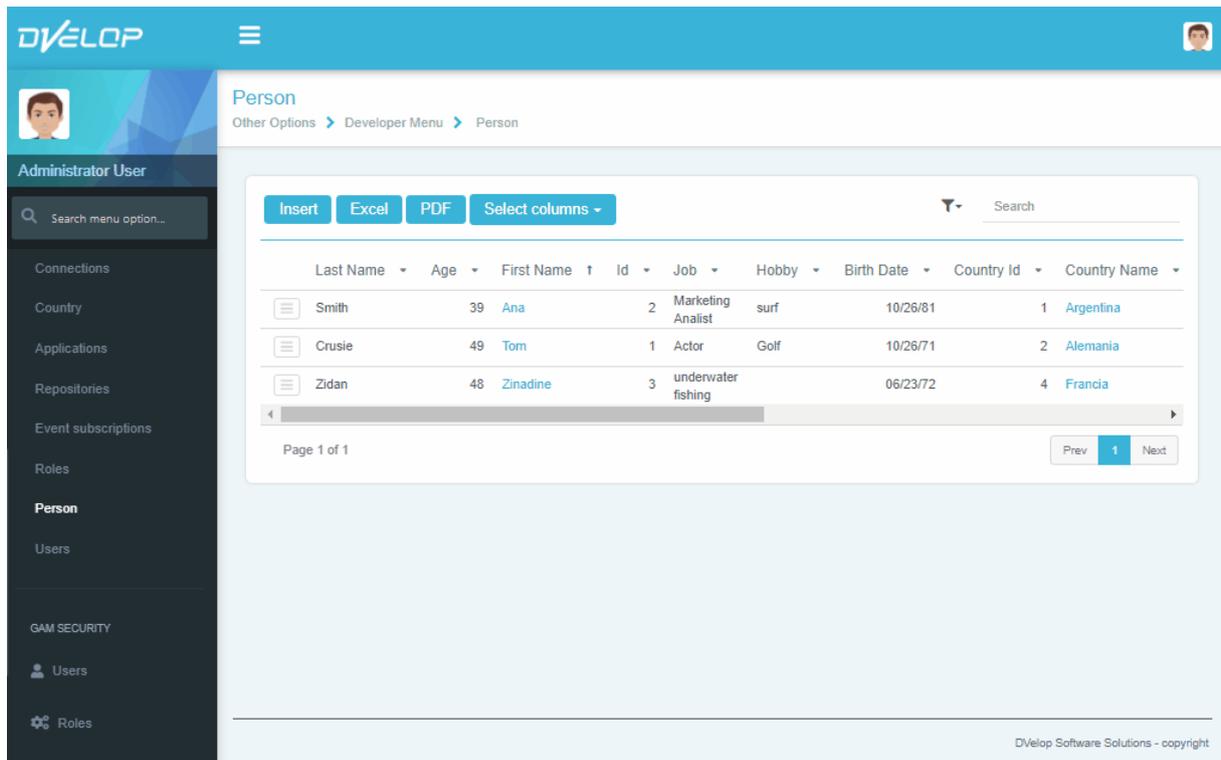


列を固定する別の方法は、実行時にタイトルフィルタを使用して行う方法です。この場合、列を右または左に設定できます。下の例に示すように、複数の列を設定することができます。



(i) ドラッグ アンド ドロップ

下の図に示すように、[列の選択] アクションでドラッグ アンド ドロップをすることで、同じ機能をコントロールできます。

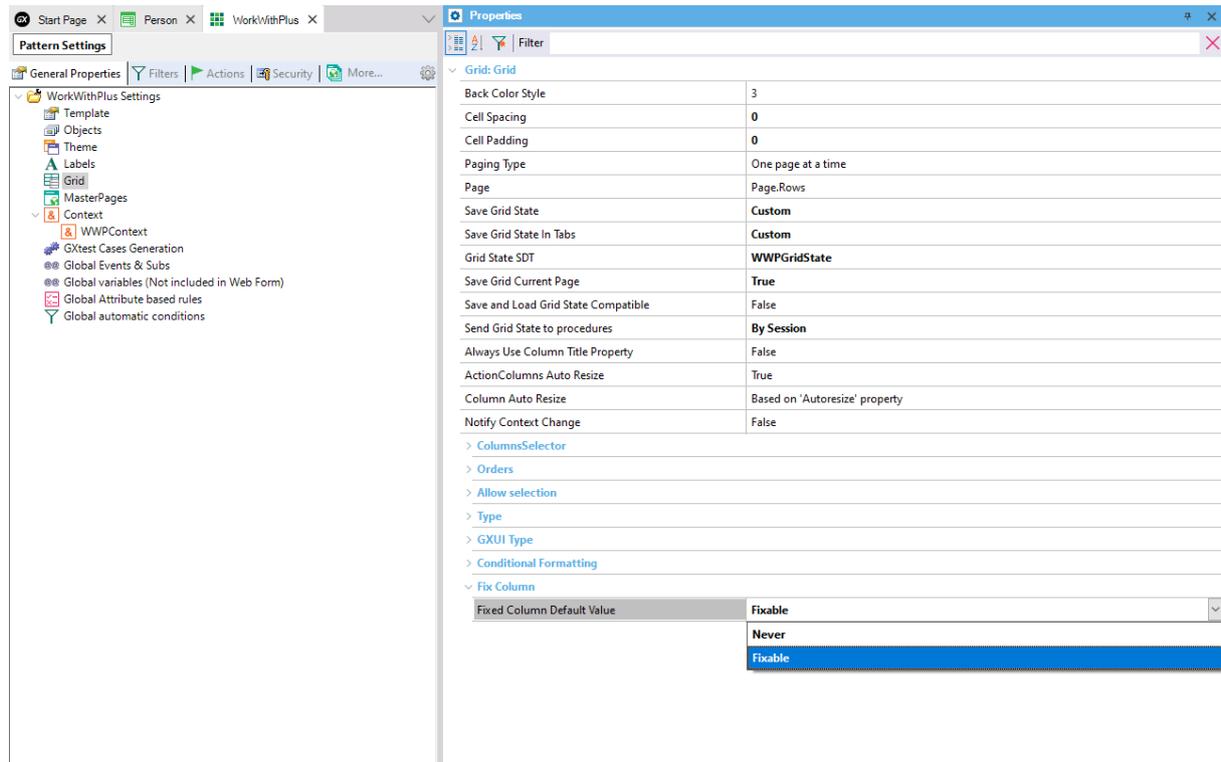


The screenshot displays the DVELOP web application interface. The top header features the DVELOP logo and a user profile icon. The main content area shows a table titled "Person" with the following columns: Last Name, Age, First Name, Id, Job, Hobby, Birth Date, Country Id, and Country Name. The table contains three rows of data:

Last Name	Age	First Name	Id	Job	Hobby	Birth Date	Country Id	Country Name
Smith	39	Ana	2	Marketing Analyst	surf	10/26/81	1	Argentina
Crusie	49	Tom	1	Actor	Golf	10/26/71	2	Alemania
Zidan	48	Zinadine	3	underwater fishing		06/23/72	4	Francia

The interface also includes a sidebar with navigation options such as "Connections", "Country", "Applications", "Repositories", "Event subscriptions", "Roles", "Person", "Users", "GAM SECURITY", "Users", and "Roles". The bottom right corner of the page contains the text "Dvelop Software Solutions - copyright".

最後の方法として、[WorkWithPlus for Web Settings] で、グリッドのプロパティの既定値を定義できます。

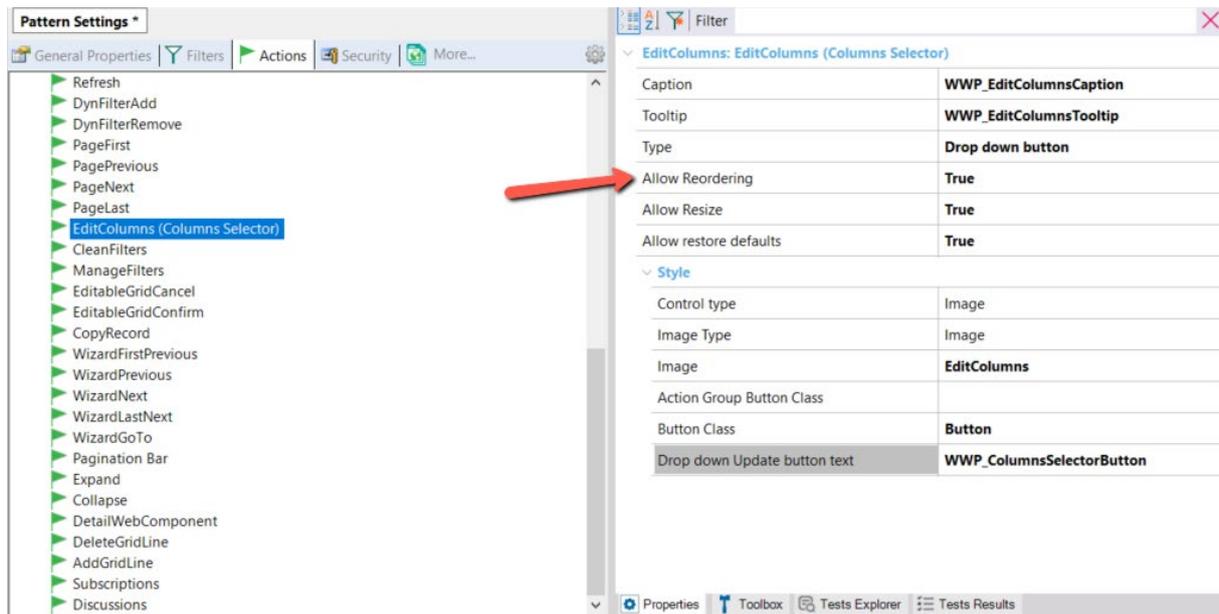


グリッドの列の並べ替え

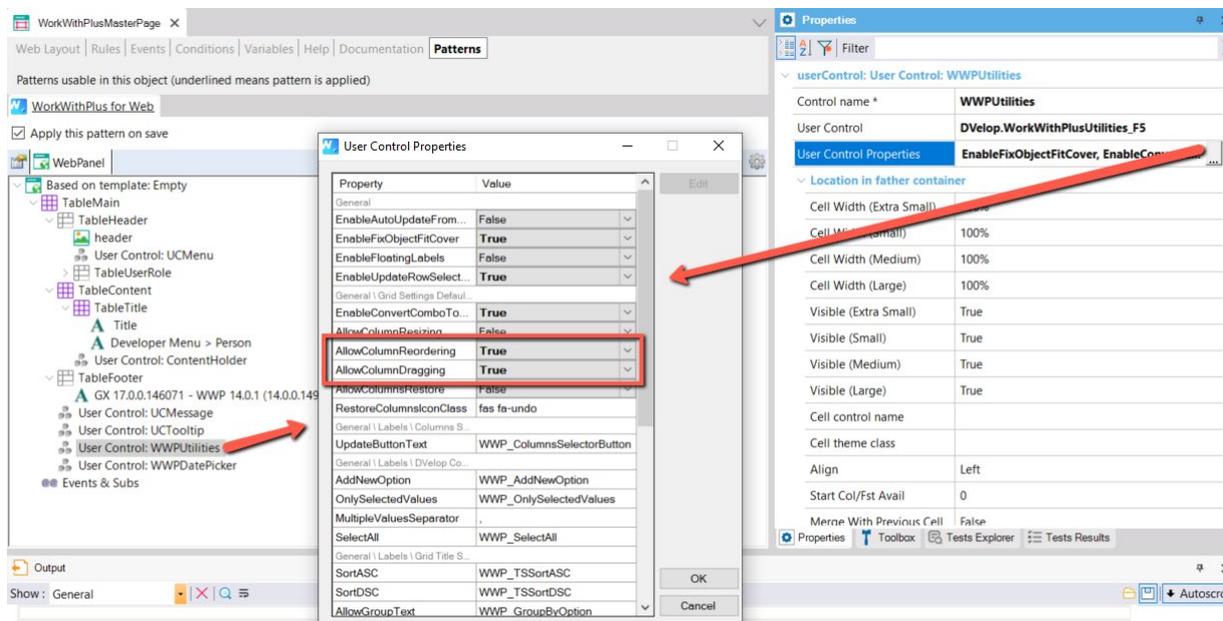
WorkWithPlus for Web 14 では、ドラッグ アンド ドロップによってグリッド列を並べ替えることができます。これは WorkWithPlus プレビューから、または実行時にブラウザで行うことができます。

列を並べ替えるためのオプションを有効にするには、次の 2 つのステップを実行する必要があります：

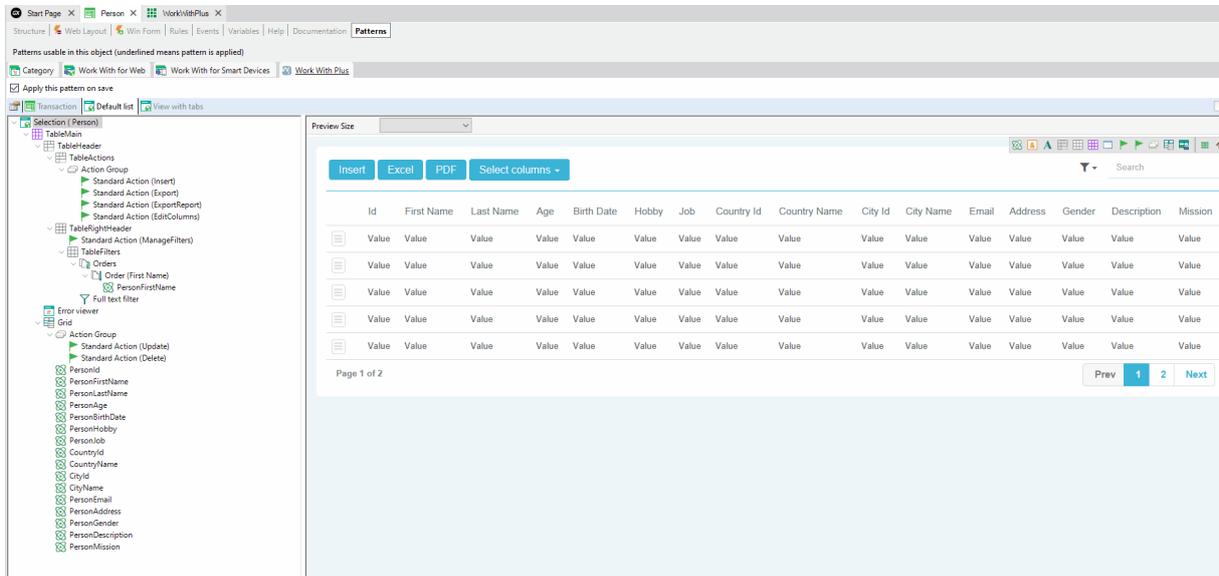
1. Standard Action の [EditColumns] の定義にある [Allow Reordering] プロパティを有効にします。これは [WorkWithPlus for Web Settings] から行う必要があります。



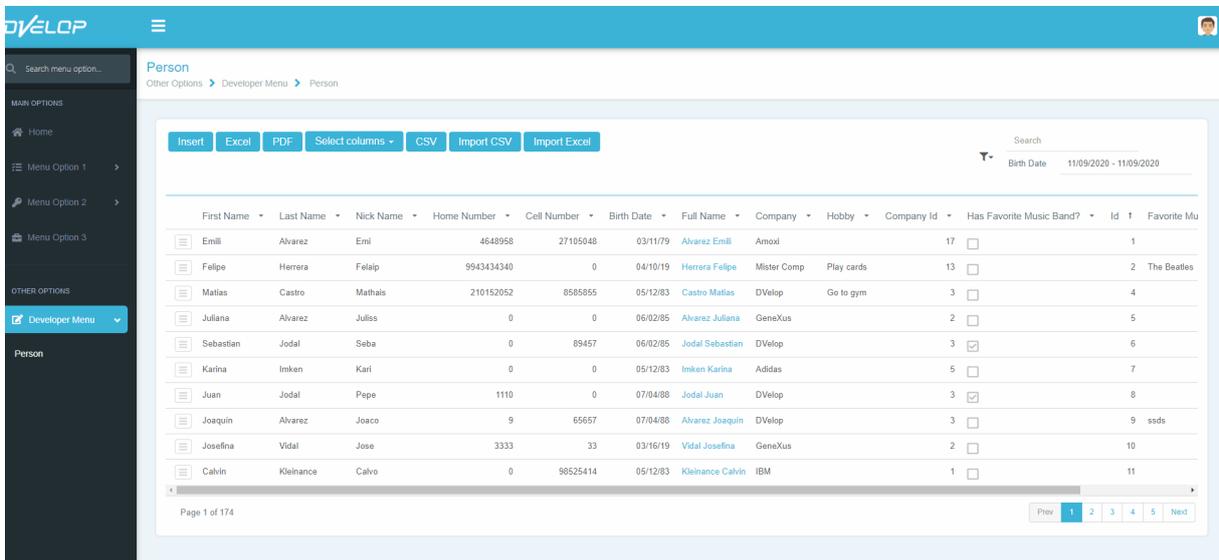
2. [MasterPage] 内の [User Control: WWPUtilities] で、[AllowColumnReordering] および [AllowColumnDragging] プロパティを [True] に設定します。

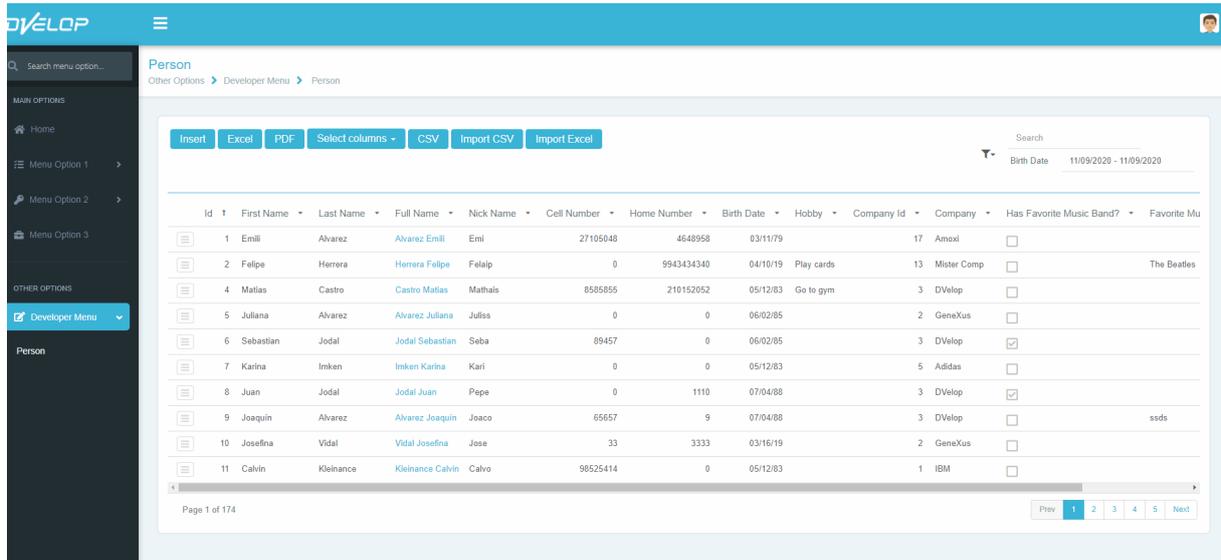


プレビューから列を並べ替える場合の例を次に示します。



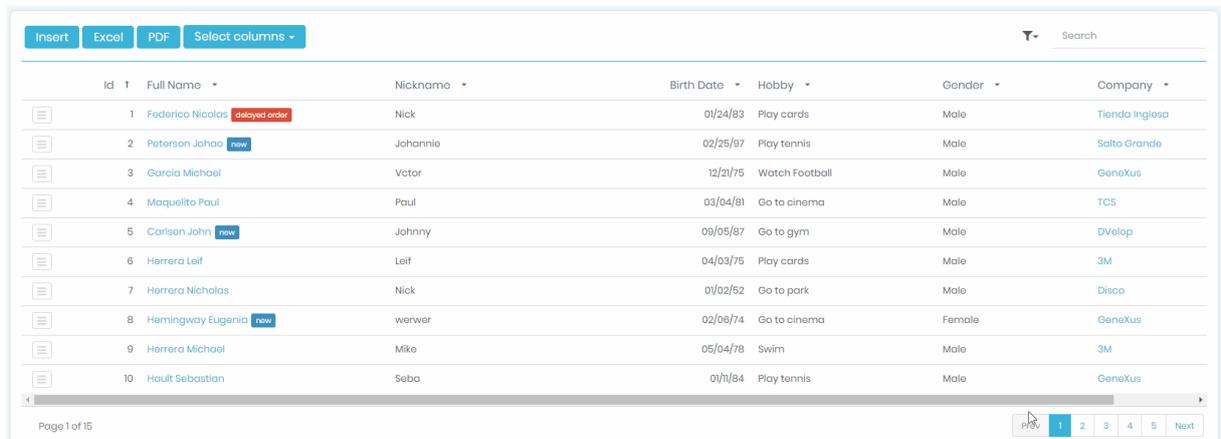
実行時には、グリッド列または列の選択機能からドラッグ アンド ドロップすることができます。以下にその例を示します。





グリッドの列のサイズ変更

WorkWithPlus for Web 14 では、グリッドの強化に関連して、実行時にグリッド列のサイズを変更するオプションが追加されました。



[列の選択] のドロップダウンの改善

[列の選択] のドロップダウンは前のバージョンでも表示されていましたが、次のことができるようになりました。

- 列の並べ替え (ドラッグ アンド ドロップによる)
- 列の固定/固定解除
- 列が属するカテゴリ内で列を表示 (グリッドに [Title Category] がある場合)
- 列の表示/非表示 (これが唯一、前のバージョンにもあった機能です)

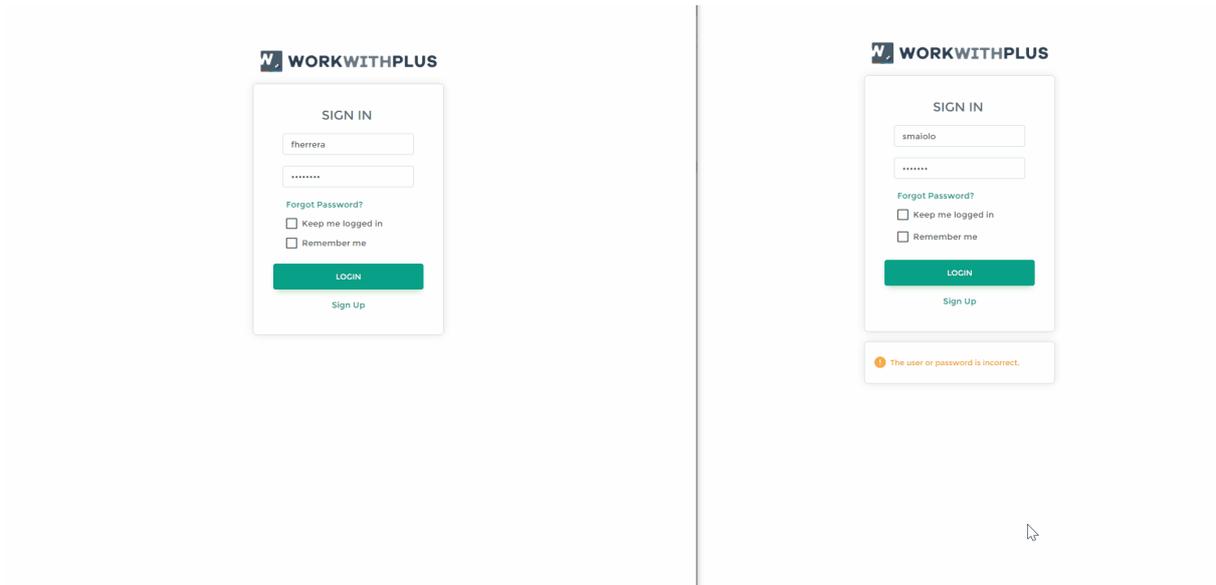
- 既定の設定の復元（順序、表示/非表示、サイズ、固定/固定解除の各設定を元の状態に復元します）

	Insert	Excel	PDF	Select columns ▾		Search	
	Id ↑	Full Name ▾	Nickname ▾	Birth Date ▾	Hobby ▾	Gender ▾	Company ▾
	1	Federico Nicolas delayed order	Nick	01/24/83	Play cards	Male	Tienda Inglesa
	2	Peterson Johao new	Johannie	02/25/97	Play tennis	Male	Salto Grande
	3	Garcia Michael	Vctor	12/21/75	Watch Football	Male	GeneXus
	4	Maquellito Paul	Paul	03/04/81	Go to cinema	Male	TCS
	5	Carlsen John new	Johnny	09/05/87	Go to gym	Male	DVelop
	6	Herrera Leif	Leif	04/03/75	Play cards	Male	3M
	7	Herrera Nicholas	Nick	01/02/52	Go to park	Male	Disco
	8	Hemingway Eugenia new	werwer	02/06/74	Go to cinema	Female	GeneXus
	9	Herrera Michael	Mike	05/04/78	Swim	Male	3M
	10	Hault Sebastian	Seba	01/11/84	Play tennis	Male	GeneXus

通知およびサブスクリプション

通知およびサブスクリプション用のモジュール一式が追加されました。WorkWithPlus for Web 14 では、通知およびサブスクリプションがデザイン システム ウィザードから簡単な手順ですべての機能を利用できるようになりました。

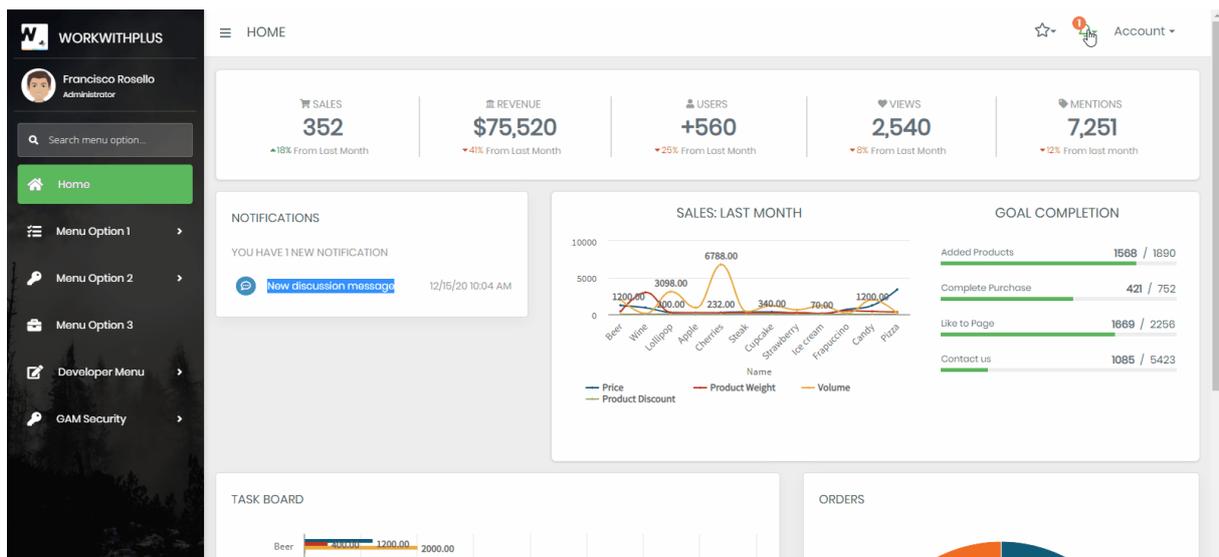
このモジュールを使用すると、きわめて簡単に通知/サブスクリプションを作成できます。ユーザーが通知をサブスクライブすると、サブスクライブしているイベントがトリガーされたときに、自動的に SMS、電子メール、およびデスクトップ通知を受信します。ディスカッションモジュールと組み合わせることで、メッセージ内で自分がメンションされた場合や、サブスクライブしているレコードに誰かが新しいディスカッションメッセージを書いた場合にも通知を受け取ることができます。



このモジュールの詳細については、「[通知およびサブスクリプションモジュール](#)」を参照してください。

ディスカッション

WorkWithPlus for Web 14 では、デザイン システム ウィザードを実行してオプションを選択するだけで、ディスカッションモジュールを含めることができます。



上の図に示すように、[Standard Action (Discussions)] を含む View オブジェクトごとに DropDownComponent が追加され、エンドユーザーはそこからレコードにコメント (ディス

カッション) を挿入できます。エンドユーザーは、新規スレッドの作成やスレッドへの返信ができるほか、アプリケーションのほかのユーザーをメンションすることもできます。

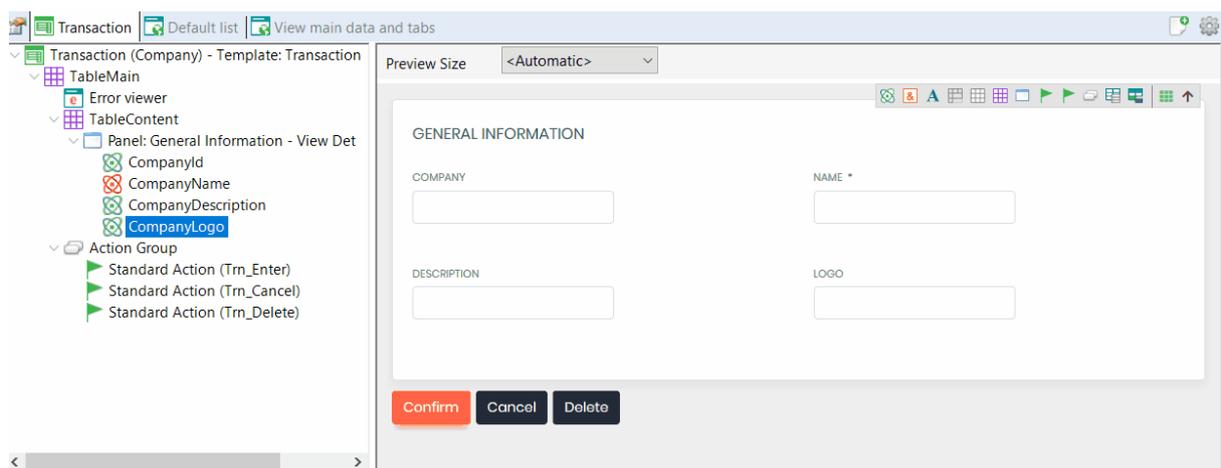
「通知およびサブスクリプション」モジュールと組み合わせることで、サブスクライブしているディスカッションに誰かがコメントを書いた場合や、メッセージ内で自分がメンションされた場合にも通知を受け取ることができます。また、ディスカッションを開いている状態で新しいメッセージを受信すると、ディスカッションが自動的に更新されます。

このモジュールの詳細については、次のリンクを参照してください: [ディスカッションモジュール](#)

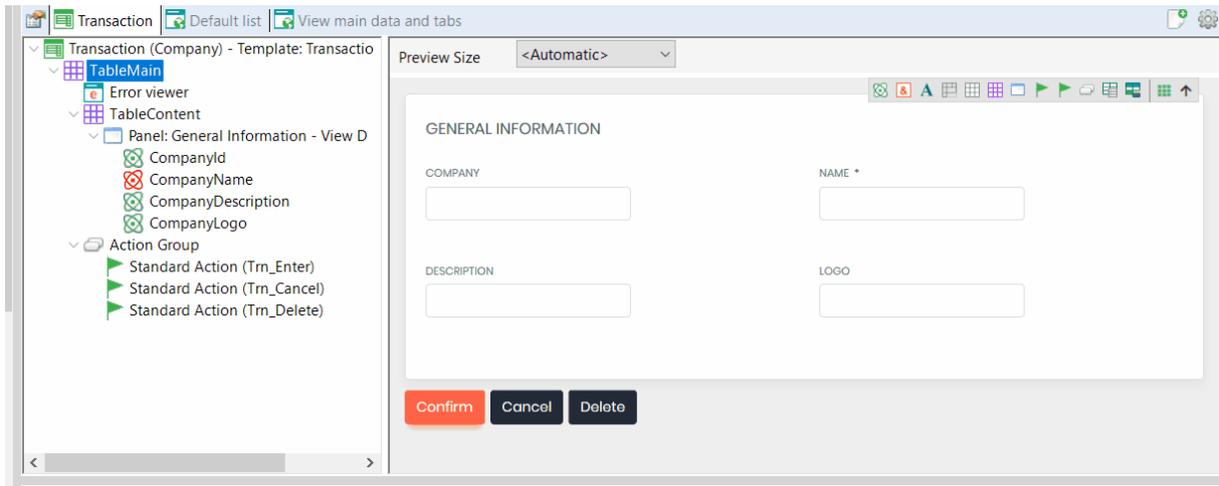
IDE とリアルタイムプレビューの改善

WorkWithPlus for Web 14 では、GeneXus 開発者のユーザーエクスペリエンスも大幅に改善されています。その一環としてリアルタイムプレビューが強化され、ツールバーでコントロールをホバリングすることで直接アクションを実行できるようになりました。これらのアクションでは、次のことができます:

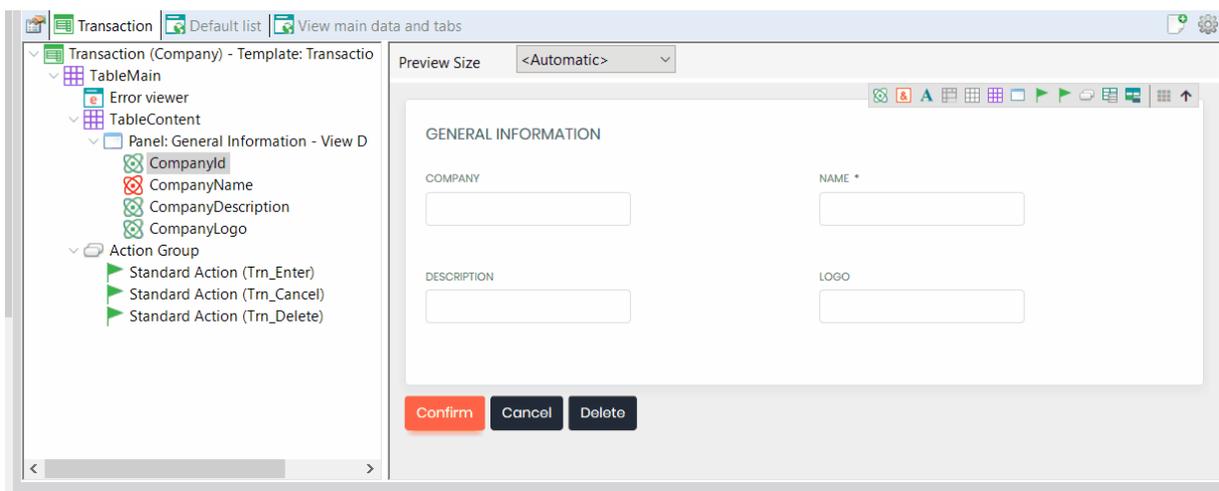
- ツールバーから新しいコントロールを挿入できます。



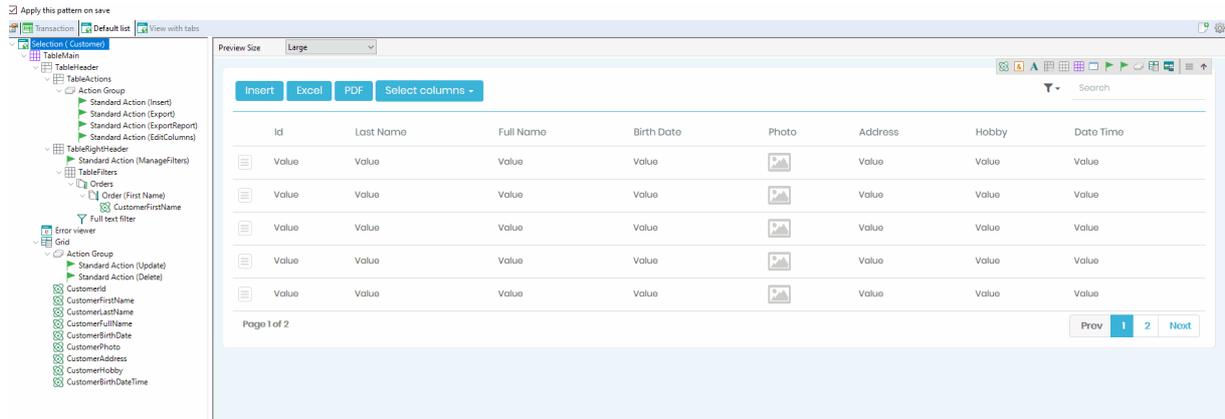
- エlementの上にカーソルを合わせると、選択したElementが強調表示されます。恒久的に強調表示する、数秒間だけ強調表示する、または強調表示しないようにすることができます。



- 項目属性、変数、テキストブロック、パネル、ボタンなどのタイトル、キャプション、デスクリプションを変更できます。次の図に示すように、フォームのコントロールをホバリングすると、コントロールごとに用意された一連のオプションが表示されます。



- フォーム内およびグリッド内のエレメントをドラッグ アンド ドロップして並べ替えることができます。グリッド内の項目属性および変数については、列の揃え位置、列の外観および操作感、またはタイトルなどの特徴を簡単に変更できます。



DVeloop Combo ユーザーコントロールの改善

WorkWithPlus for Web 14 バージョンでは、「DVeloop Combo」ユーザーコントロールに新しい機能とプロパティが追加されています。

次の操作を実行できるようになります：

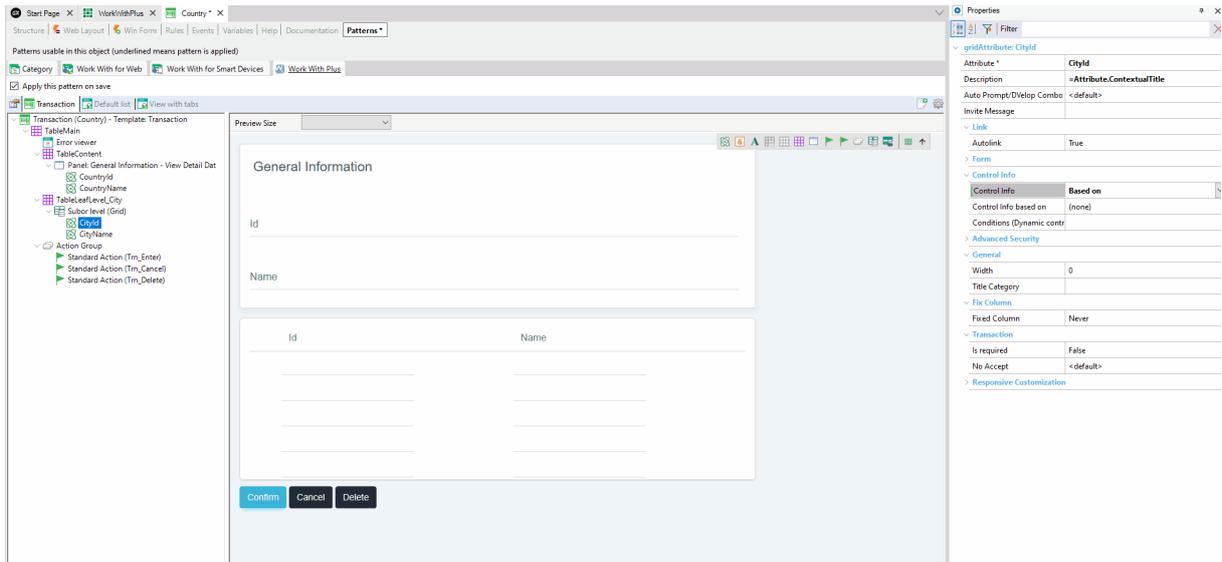
- グリッド内で DVeloop Combo を追加する
- [Auto DVeloop Combo] プロパティを使用して、WorkWithPlus for Web が適用されたトランザクションのすべての FK で、DVeloop Combo を自動的に使用する
- より複雑なスタイルで項目を表示する
- コンボボックス内のデータを自動でドロップアップ/ドロップダウンする
- Web パネルで新しいレコードを追加する

グリッド内での DVeloop Combo の使用

WorkWithPlus for Web 14 では、グリッド内で DVeloop Combo を使用できるようになりました。

これは、グリッド外で使用する場合と同じ方法で実装できます。

たとえば、多くの都市が含まれる Country トランザクションがあり、各都市がグリッドを使用してロードされている場合、次の方法で実装できます。



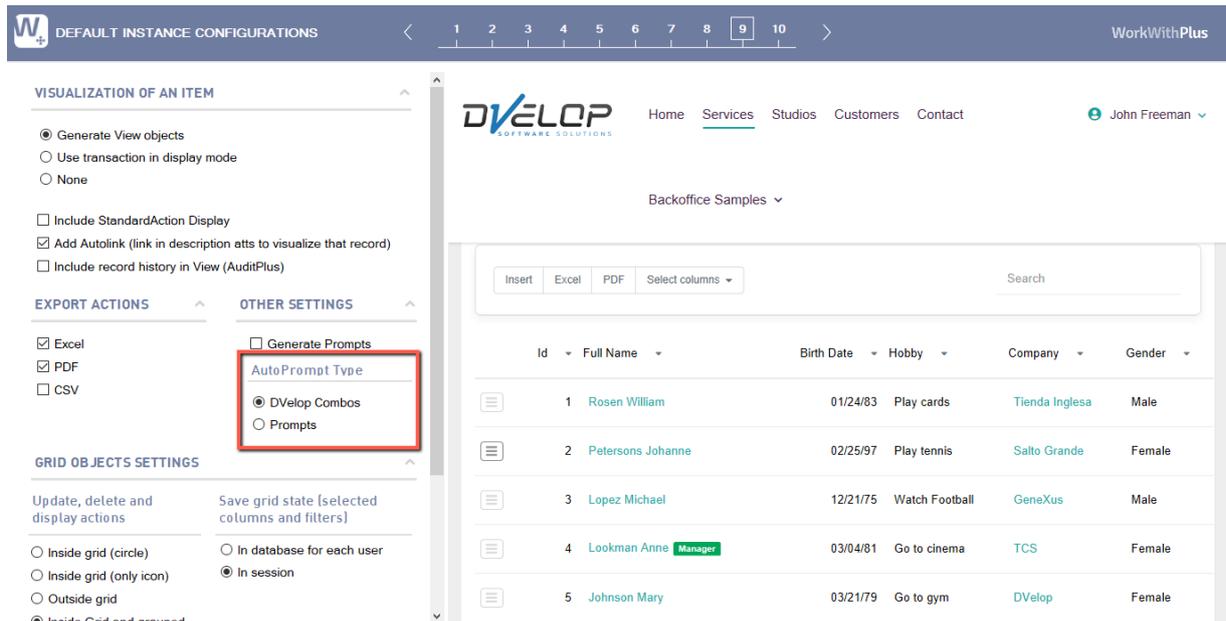
この場合も、Dvelop Combo のすべてのプロパティが適用されることに注意してください。

Auto Dvelop Combo

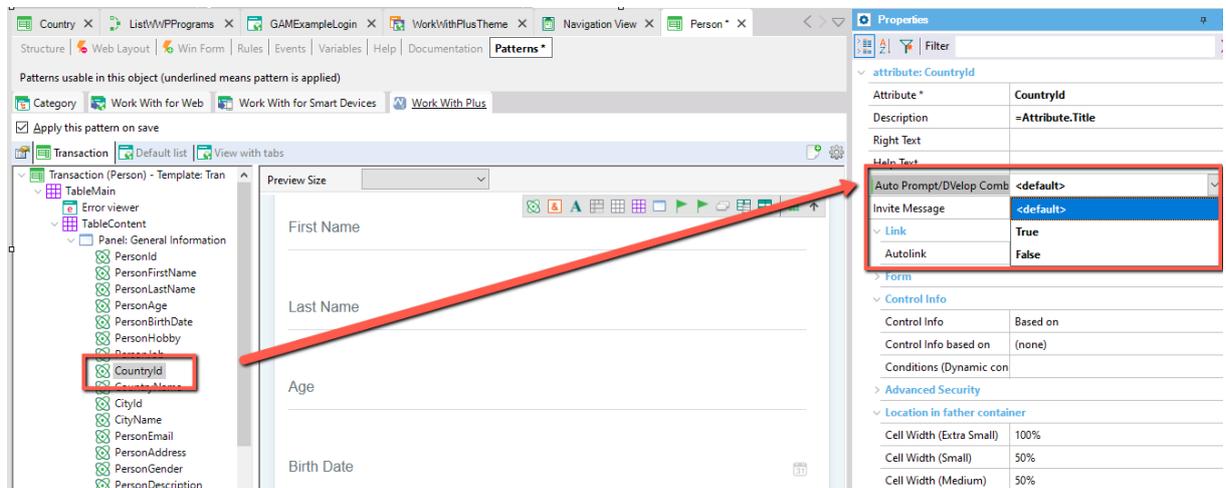
ある Person トランザクションの構造内に Country、CountryId、CountryName の外部キーとデスクリプション項目属性を追加する場合、新しいレコードを入力すると、WorkWithPlus for Web によって自動的に CountryId のプロンプトまたは Dvelop Combo が生成されます。

Auto DvelopCombo	Auto Prompt

これを実現する方法の1つとして、デザイン システム ウィザードで、自動的にプロンプトまたは Dvelop Combo を生成するかどうかを定義できます。

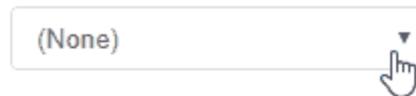
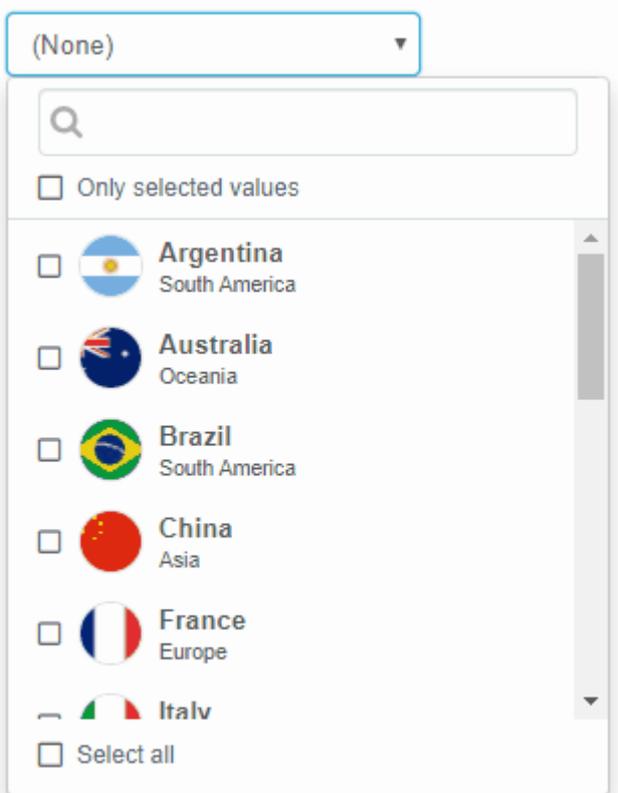


または、WorkWithPlus for Web によって生成された既定値を変更することもできます。つまり、既定で DDevelop Combo が生成される場合、[Auto Prompt/DDevelop Combo:] プロパティを [False] に設定することで、この項目属性は自動プロンプトからロードされるようになります。



より複雑なスタイルでの項目の表示

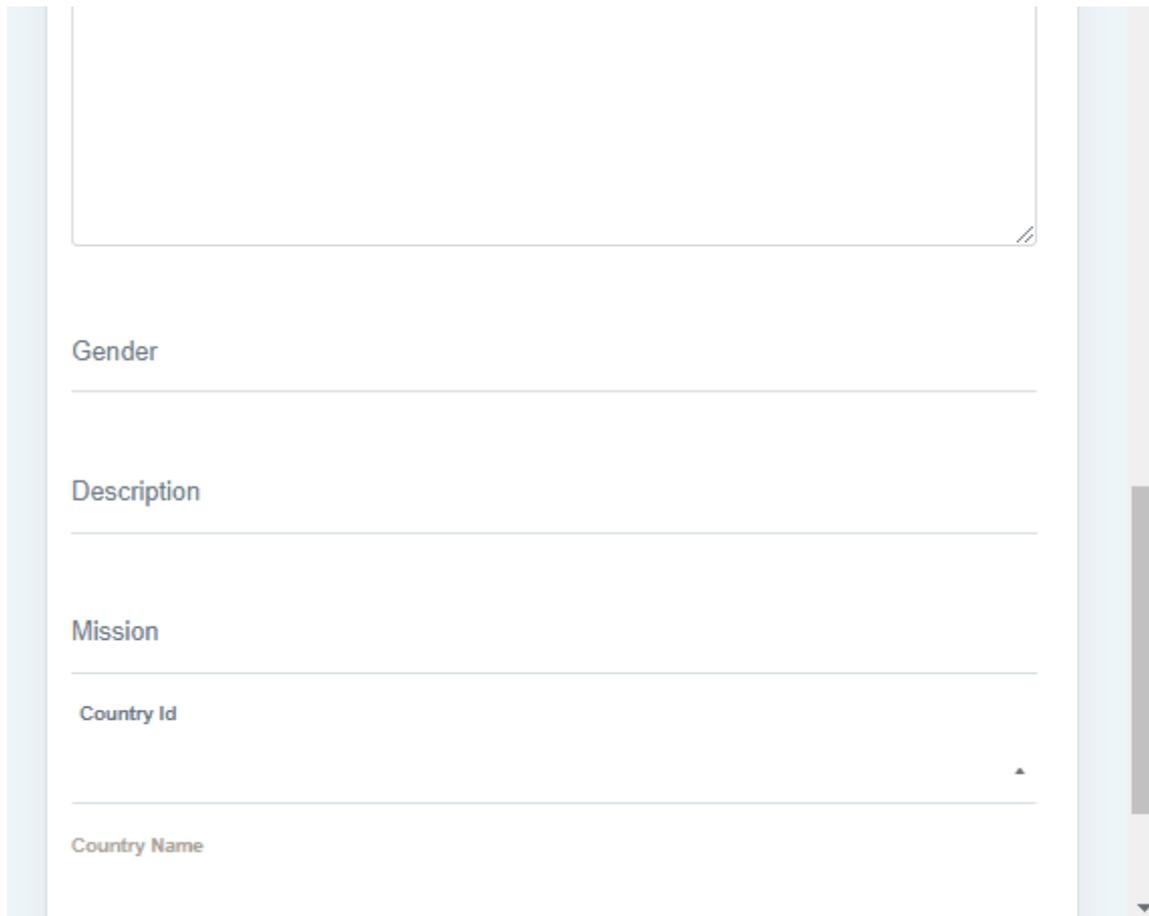
項目内のより詳細な情報（タイトル、サブタイトル、画像）を表示できる、新しいプロパティが DDevelop Combo に追加されました。



詳細については、「[WorkWithPlus for Web のユーザーコントロール](#)」から「Dvelop Combo」ノードにアクセスしてください。

項目の自動ドロップアップ/ドロップダウン

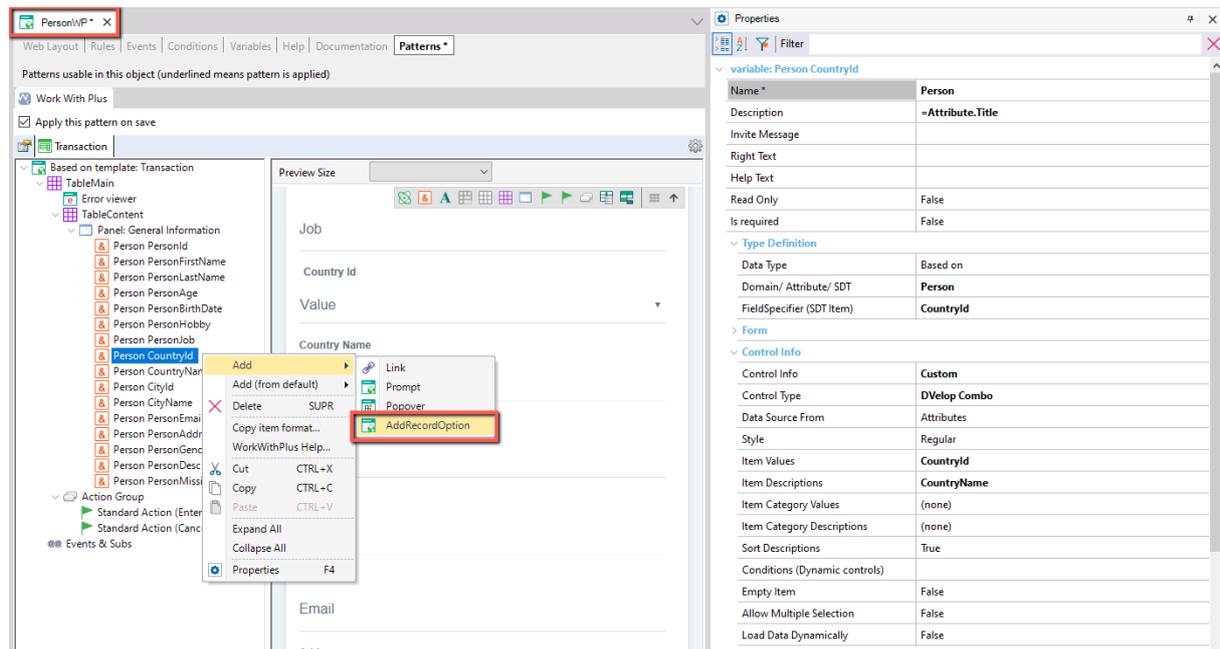
WorkWithPlus for Web 14 からは、画面上にドロップダウンが表示されるスペースが足りない場合、ドロップダウンがドロップアップになります。そのため、画面上でのコンボボックスの位置によっては、ドロップダウンで表示されることもドロップアップで表示されることもあります。



The screenshot shows a web form with several input fields. At the top is a large empty text area. Below it are fields for 'Gender', 'Description', 'Mission', 'Country Id', and 'Country Name'. The 'Country Id' field is a dropdown menu that has expanded upwards (drop-up) because there is not enough space below it for a standard dropdown. A vertical scrollbar is visible on the right side of the form.

Web パネルに新しいレコードを追加するオプション

WorkWithPlus for Web 14 では、Web パネルに AddNewRecord 機能を含めることができるようになります。この機能は、これまで Transaction オブジェクトのみに制限されていました。



デザイン システム ウィザードの改善

WorkWithPlus for Web 14 では、デザイン システム ウィザードにいくつか改善点があります：

- ウィザードを基本モードでも詳細モードでも実行できます。
- デザインシステムをより柔軟に定義できる新しいプロパティセットがあります。
- プロパティの維持や必要なオブジェクトのみのインポートなど、さらにインテリジェントになりました。

実行モード (基本または詳細)

ウィザードの実行プロセスが簡潔になりました。2つの方法でウィザードを実行できます。

基本設定:

基本設定では、次の2つのステップのみを実行します。

1. デザインシステムのベースを選択する
2. ベースカラーを選択し、「ディスカッション」、「通知およびサブスクリプション」などのモジュールをインポートするかどうかを選択する

ウィザードは以前と同じように、すべてのオブジェクトをインポートする既定のオプションで実行されますが、より簡素化されています。

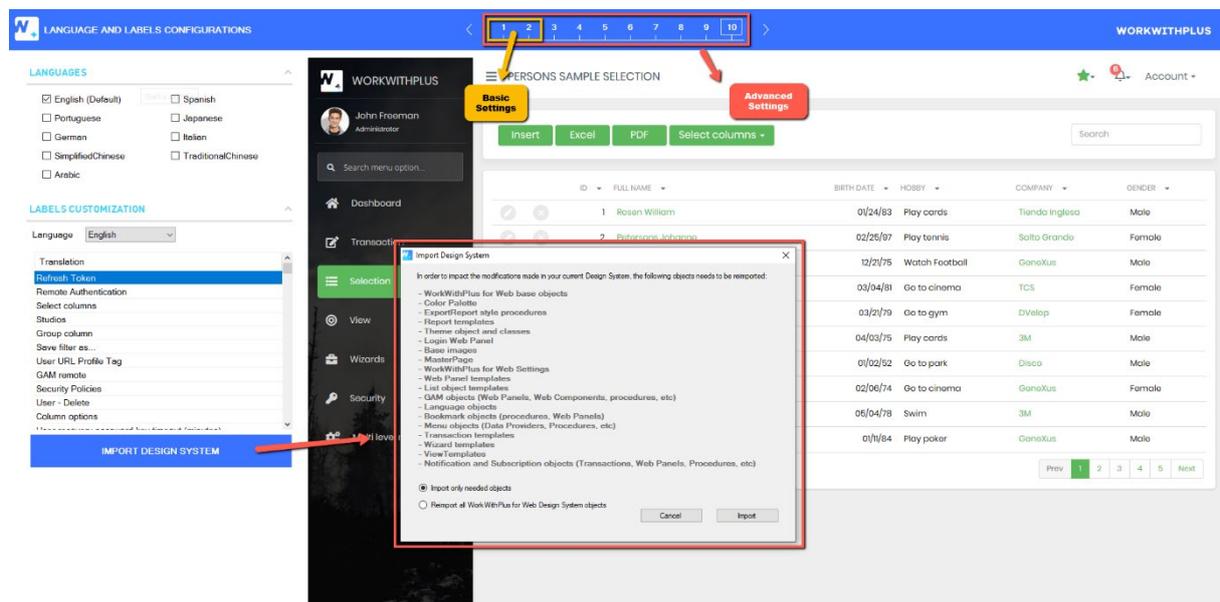
詳細設定

ステップ 2 で [詳細設定] を選択した場合、完全なウィザードが表示されます。また、[使用中のデザインシステム] を選択した場合、ウィザードは常に詳細モードで開きます。

ウィザードで加えた変更がある場合は、[デザインシステムをインポート] ボタンをクリックすると、インポートされるオブジェクトの名前を示すポップアップウィンドウが表示されます。

それらのみをインポートすることも、デザインシステムのすべてのオブジェクトを再インポートすることもできます。

このボタンはステップ 2 とステップ 10 の両方のステップで表示されます。



ウィザードのインテリジェントな再実行

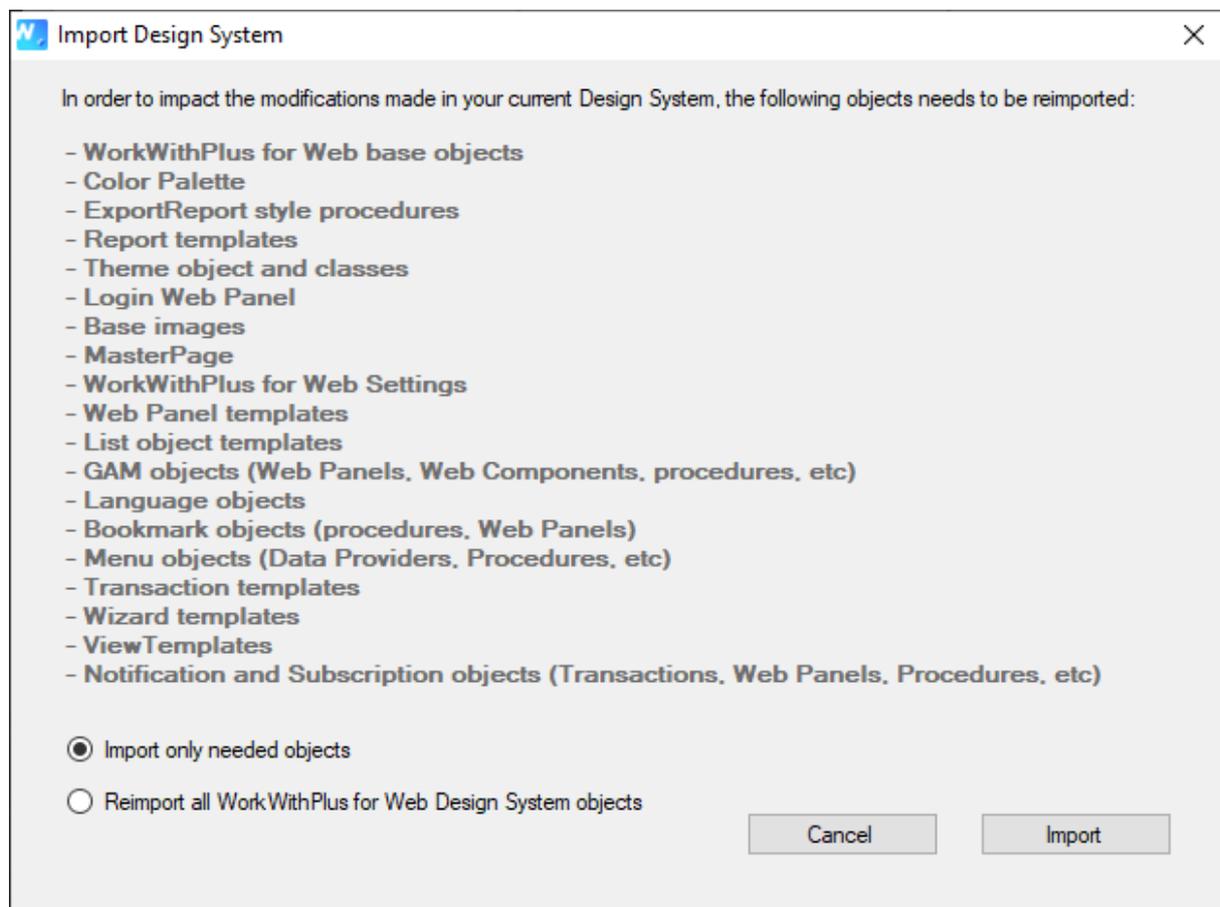
WorkWithPlus for Web 14 は、デザイン システム ウィザードを実行するときのインテリジェンスが向上し、主に 2 つの改善点があります。

必要なオブジェクトのみをインポート

これまでは、ウィザードを実行すると、1 つ変更しただけでもすべてのオブジェクトが再度インポートされていました。

ウィザードにインテリジェンスが組み込まれたことによって、どのような変更があったか検出し、変更に関与したものだけをインポートします。

ウィザードを実行した後、ナレッジベースに WorkWithPlus for Web が既にある場合は、変更内容に応じて、インポートするオブジェクトを通知するメッセージが画面に表示されます。それらのオブジェクトのみをインポートするか、すべてを再度インポートするかを選択できます。



WorkWithPlus for Web 設定のプロパティの維持

このバージョンでは、カスタマイズした内容に応じて必要なオブジェクトのみをインポートするだけでなく、WorkWithPlus for Web 設定の再インポートが必要な場合には、次のような多数のプロパティやノードをそのままの状態を残すことができます。

- [Objects] ノード
- [Labels] ノード
- 事前定義されたテンプレートに追加したイベントブロックや変数
- 自動条件
- 条件付き書式や列タグを定義するプロパティ ([WorkWithPlus for Web] -> [Grid] ノード)
- 既定のフィルタ定義
- トランザクション、リスト、Web パネル、レポートなどのために作成したテンプレート

デザイン システム ウィザードの新しいプロパティ

デザイン システム ウィザードに次のような設定が追加/更新されました:

ステップ 1: ベースのデザインシステムの再デザイン

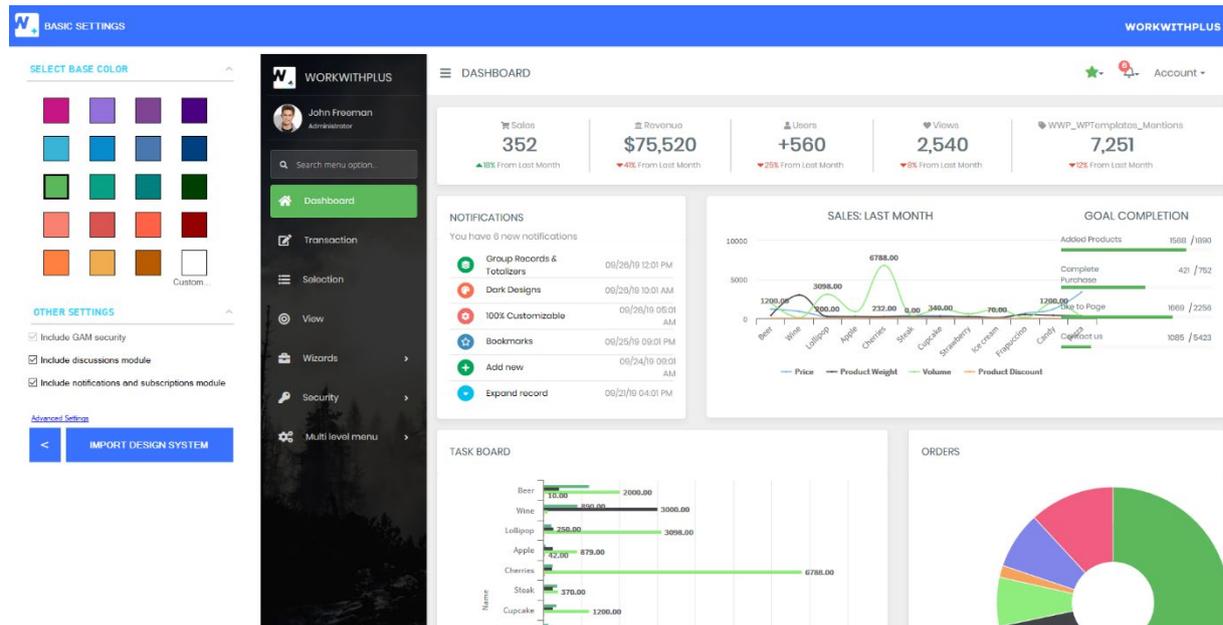
ベースのデザインシステムが大きいカードで表示されるようになり、次のステップのためのプレビューが残るようになりました。



ステップ 2: 基本設定

[基本設定] には新しいオプションがあります:

- [その他の設定]
 - [GAM セキュリティを含める]
 - [ディスカッションモジュールを含める]
 - [通知/サブスクリプションモジュールを含める]
- [詳細設定]
- [デザインシステムをインポート]



ステップ 4: メニューおよびヘッダーのスタイル

- フォントオプションが追加されました。

ステップ 5: マスターページ

- [通知を含める] > [通知/サブスクリプションモジュールを含める]
- [ディスカッションモジュールを含める]

ステップ 8: その他のスタイル構成

- グリッドスタイルに新しいオプション [シンプル] が用意されました。

ステップ 9: 既定のインスタンス構成

- [その他の設定]: [AutoPrompt] プロパティが [True] のときに、編集フォームの外部キー項目属性に Prompt と DDevelop Combo のどちらを割り当てるか選択できるようになりました。

- [更新、削除、表示アクション] 内の [グリッドの内側] オプションが 2 つのオプションに分割されました。[グリッドの内側 (丸形)] と [グリッドの内側 (アイコンのみ)] です。
- [グリッド内のアクションを左に固定]: 更新、削除、表示アクション (または ActionGroup) をリストグリッドの左に固定するかどうか選択できます。

ステップ 10: 表示言語と項目名の設定

- [デザインシステムをインポート] ボタンが追加され、詳細設定を終了したり、変更されたオブジェクトのみをインポートするかすべてを再度インポートするかを選択したりできるようになりました。

項目属性/変数のポップオーバー

項目属性と変数のポップオーバーに、情報を表示する機能が追加されました。これらのコントロールは、グリッドの内側または外側で使用できます。

ポップオーバーには選択した Web コンポーネントが表示され、そこから柔軟にカスタマイズできます。また、WorkWithPlus for Web には一連のポップオーバーテンプレートが用意されているため、作成済みのテンプレートをベースにして Web コンポーネントを作成できます。

ポップオーバーは、左、右、上、下に表示できます。また、アイコンフォントか、ポップオーバーを追加した項目属性/変数からタイプアクションをクリックまたはホバリングして表示することもできます。

ポップオーバーには [Security Functionality Key] プロパティがあるため、GAM の統合セキュリティから表示と非表示の切り替えができます。

Person Insert Excel PDF CSV Select columns Search in Name value Starts with

Name	Last Name	Nick Name	Gender	Company
Elias	Milán	Elias	Men	WorkWithPlus
Eugenia	Alvarez	Pilu	Women	WorkWithPlus
Felipe	Herrera	Filipo	Men	WorkWithPlus
Francisco	Rosello	Panchito	Men	WorkWithPlus
Gustavo	De Abreu	Gus	Men	WorkWithPlus
Joaquin	Alvarez	Joaco	Men	WorkWithPlus
Sofia	Maiolo	Sofi	Women	WorkWithPlus
Yamila	Sayanes	Yam	Women	WorkWithPlus

Page 1 of 1 Prev 1 Next

ポップオーバーの詳細については、次のリンクを参照してください: [ポップオーバー](#)

ユーザーアクションでのドロップダウンによる Web コンポーネントの表示

コントロールタイプ「DropDownComponent」を使用して Web コンポーネントをユーザーアクションに追加できるようになりました。これにより、データの表示方法をより柔軟にカスタマイズできます。Web コンポーネントはドロップダウンすると表示されます。

≡ COUNTRY

Insert Excel PDF Select columns Subscriptions Drop Down

ID	NAME
2	Brasil
4	Chile
3	Paraguay
5	United States
1	Uruguay

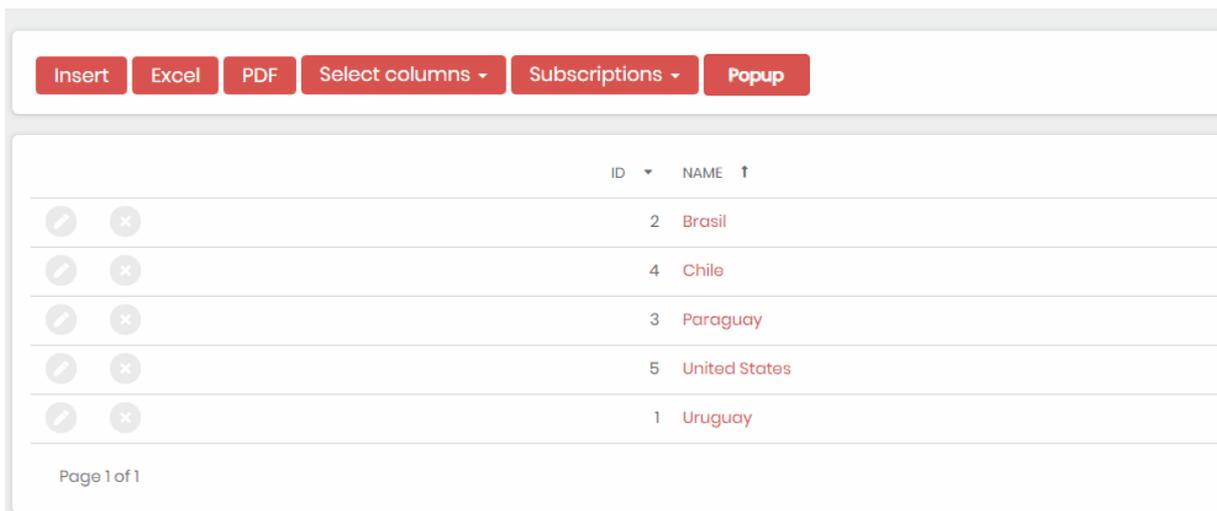
Page 1 of 1

これは、パターンによる通知の表示や、ディスカッションメッセージの表示と追加の際にも自動的に使用されます。

ユーザーアクションでのポップアップによる Web コンポーネントの表示

ポップアップウィンドウは、ユーザーの注意を 1 つの画面に集中させたい場合に最適な手段です。ボタンまたは画像タイプのユーザーアクションがある場合に、Web コンポーネントを呼び出すことのできるポップアップを作成するための新しい方法を用意しました。

☰ COUNTRY



The screenshot shows a web interface with a navigation bar containing buttons for 'Insert', 'Excel', 'PDF', 'Select columns', 'Subscriptions', and 'Popup'. Below the navigation bar is a table with the following data:

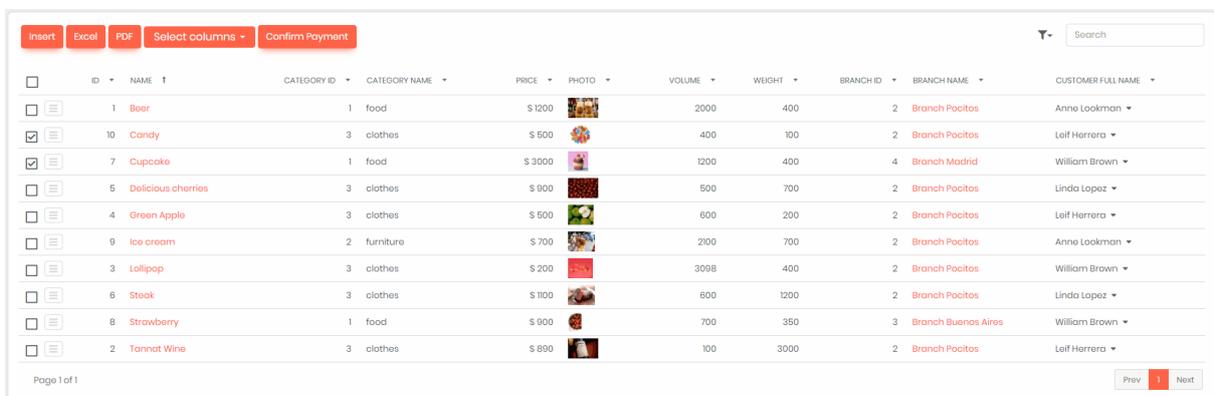
ID	NAME
2	Brasil
4	Chile
3	Paraguay
5	United States
1	Uruguay

Page 1 of 1

ユーザーアクションの [GXObject] プロパティで Web コンポーネントを選択するだけで、簡単にポップアップを作成できます。

[Confirm] 機能における確認フィールド

アクションの [Confirm] を設定する際に確認フィールドを追加するオプションが追加されています。



The screenshot shows a web interface with a navigation bar containing buttons for 'Insert', 'Excel', 'PDF', 'Select columns', and 'Confirm Payment'. Below the navigation bar is a table with the following data:

ID	NAME	CATEGORY ID	CATEGORY NAME	PRICE	PHOTO	VOLUME	WEIGHT	BRANCH ID	BRANCH NAME	CUSTOMER FULL NAME
1	Boer	1	food	\$ 1200		2000	400	2	Branch Pacitos	Anne Lookman
10	Candy	3	clothes	\$ 500		400	100	2	Branch Pacitos	Leif Herrera
7	Cupcake	1	food	\$ 3000		1200	400	4	Branch Madrid	William Brown
5	Delicious cherries	3	clothes	\$ 900		500	700	2	Branch Pacitos	Linda Lopez
4	Green Apple	3	clothes	\$ 500		600	200	2	Branch Pacitos	Leif Herrera
9	Ice cream	2	furniture	\$ 700		200	700	2	Branch Pacitos	Anne Lookman
3	Lollipop	3	clothes	\$ 200		3098	400	2	Branch Pacitos	William Brown
6	Steak	3	clothes	\$ 100		600	1200	2	Branch Pacitos	Linda Lopez
8	Strawberry	1	food	\$ 900		700	350	3	Branch Buenos Aires	William Brown
2	Tannat Wine	3	clothes	\$ 890		100	3000	2	Branch Pacitos	Leif Herrera

Page 1 of 1

このオプションを使用できるように、アクションの [Confirm] プロパティを [True] に変更する際に、[Comment] という新しいプロパティが表示されます。このプロパティには [Do not include]、[Optional]、または [Required] の値を設定できます。

自動化の改善

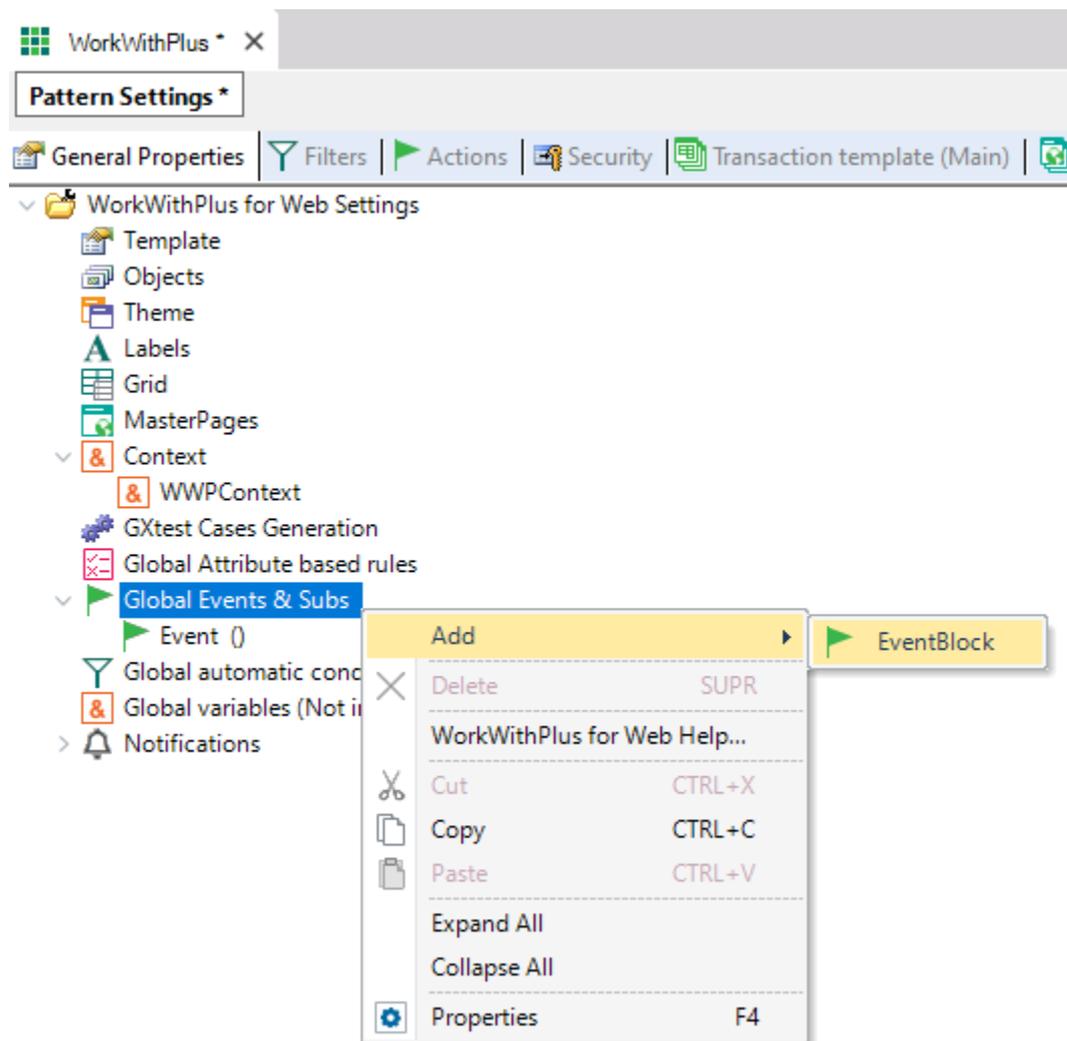
生成されるナレッジベースの自動化を強化するため、次の機能が追加されました：

- [Global Events & Subs]
 - イベントブロックおよびサブルーチンがグローバルに追加されます。プロパティの設定方法によっては、パターンインスタンスが適用されているすべてのトランザクションや Web パネルに追加できます。
- [Global variables (Not included in Web Form)]
 - 変数がトランザクション、Web パネル、レポートにグローバルに追加されます。これらは Web フォームには含まれません。
- [Global Attribute based rules]
 - 項目属性に基づいてルールが追加されます。<ATT_NAME> などのタグや適切なプログラミングの実践により、ルールをグローバルに自動化できるようになります。
- [Global automatic conditions]
 - すべての Web パネル (List または Prompt) に条件が自動的に追加されます。

グローバル イベント ブロック

WorkWithPlus for Web では、WorkWithPlus for Web Settings の構造内に [Global Events & Subs] を追加できます。

グローバル イベント ブロックを使用すると、特定のテンプレートにイベントブロック/サブブロックを追加しなくても、これらのブロックを Web パネル、トランザクション、およびレポートに追加できます。



[Global variables (Not included in Web Form)]

WorkWithPlus for Web では、WorkWithPlus for Web Settings の構造内にグローバル変数を追加できます。グローバル変数を使用すると、特定のテンプレートに変数を追加しなくても、トランザクション、Web パネル、およびレポートに対して変数を定義できます。たとえば、グローバル イベント ブロックで変数を使用する場合は、以下の場所から定義します。



WorkWithPlus * x Properties

Pattern Settings * Filter

General Properties Filters More...

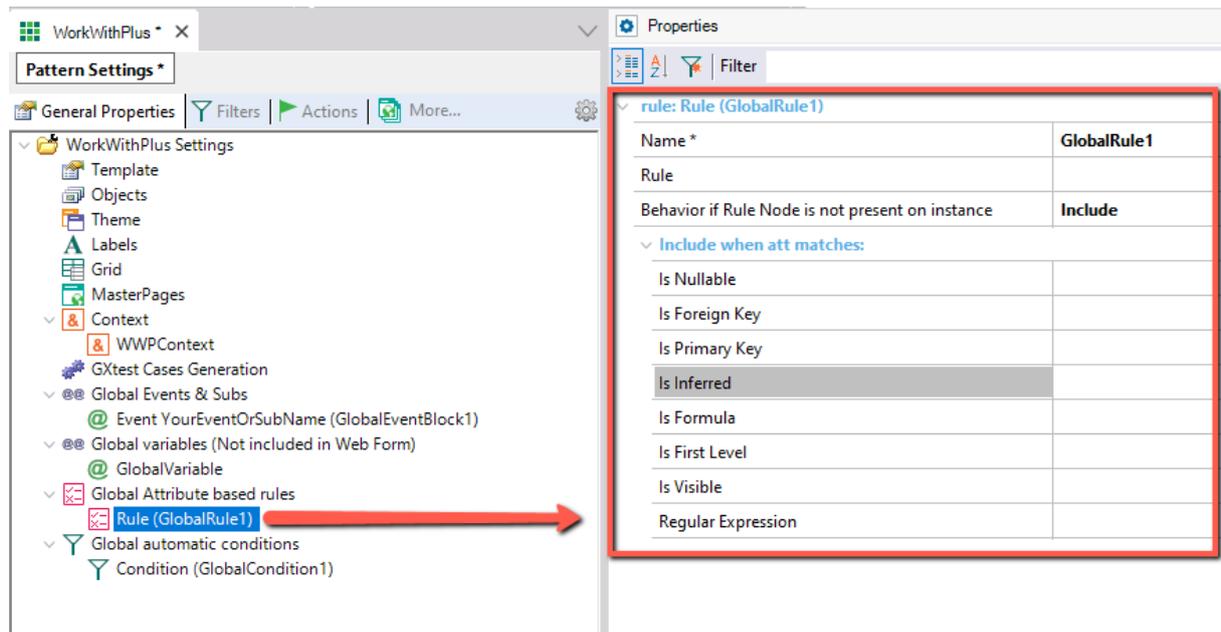
- WorkWithPlus for Web Settings
 - Template
 - Objects
 - Theme
 - Labels
 - Grid
 - MasterPages
 - Context
 - WWPContext
 - GXtest Cases Generation
 - Global Attribute based rules
 - Global Events & Subs
 - Global automatic conditions
 - Global variables (Not included in Web Form)
 - GlobalVariable**
 - Notifications

variable: GlobalVariable

Name *	GlobalVariable
Domain/ Attribute/ SDT	GlobalVariable
Global Variable Applies to:	
Default for Transaction and Web Panel templates	True
Transaction templates	< default >
List templates	< default >
Prompt templates	< default >
View templates	< default >
View Tabular Tab templates	< default >
View Grid Tab templates	< default >
Association Selection templates	< default >
Association templates	< default >
Web Panel generic templates	< default >
Wizard templates	< default >
Wizard Step templates	< default >
Global Variable Applies to Procedures:	
Default for Procedure templates	True
List Title Filter Procedure templates	< default >
List Calculate Group Totalizer templates	< default >
List Export templates	< default >
List Export Report templates	< default >
List Export CSV templates	< default >
List Import Excel templates	< default >
List Import CSV templates	< default >
View Grid Tab Export templates	< default >
View Grid Tab Export Report templates	< default >
View Grid Tab Export CSV templates	< default >
View Grid Tab Import Excel templates	< default >
View Grid Tab Import CSV templates	< default >
View Grid Tab Calculate Group Totalizer templates	< default >
View Grid Tab Title Filter Procedure templates	< default >
Prompt Title Filter Procedure templates	< default >
Association Selection Title Filter Procedure templates	< default >

グローバルルール

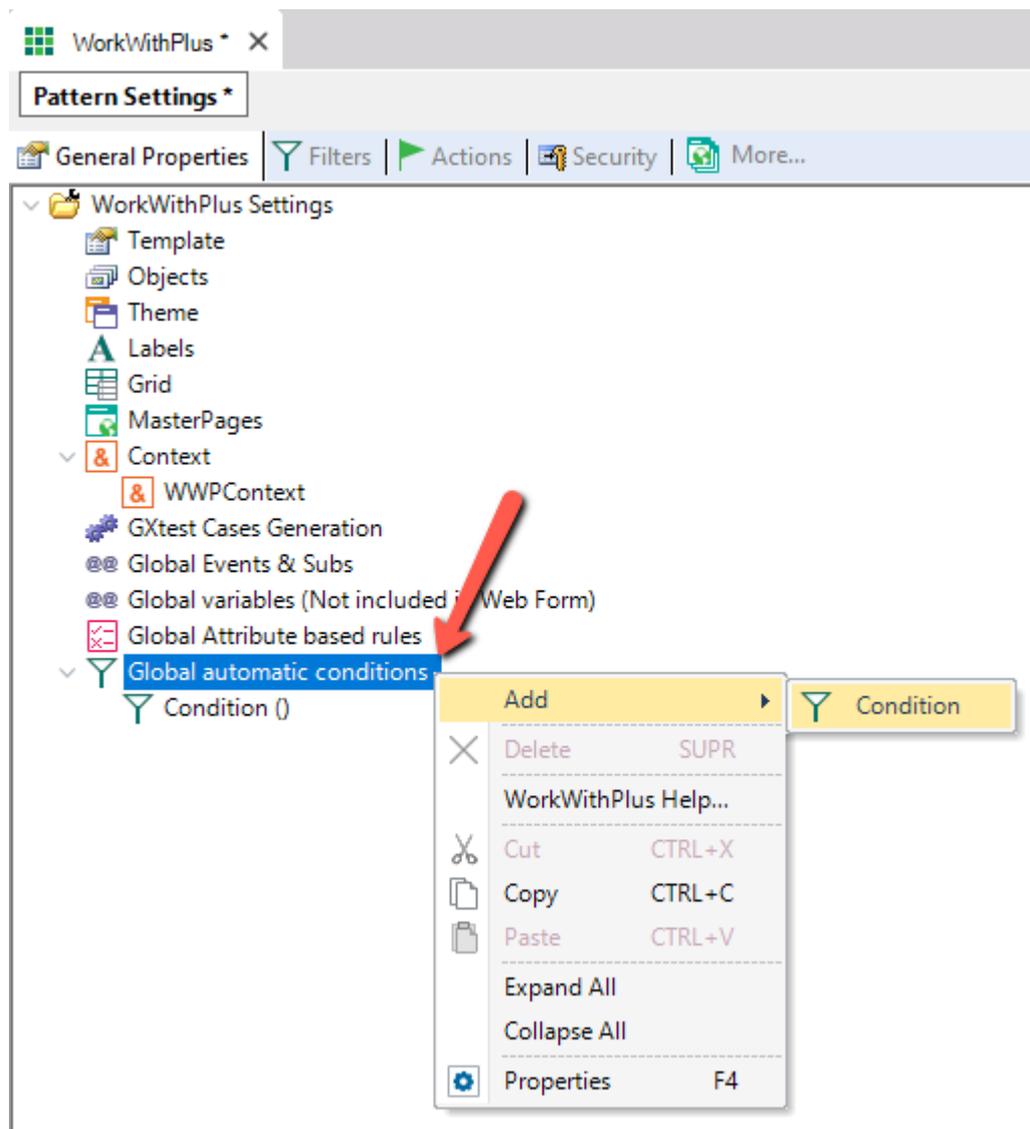
[Global Attribute based rules] を WorkWithPlus for Web Settings の構造内で利用できるようになり、必要に応じてルールブロックをすべての Web パネルとトランザクションに追加する作業が簡単になりました。



rule: Rule (GlobalRule1)	
Name *	GlobalRule1
Rule	
Behavior if Rule Node is not present on instance	Include
Include when att matches:	
Is Nullable	
Is Foreign Key	
Is Primary Key	
Is Inferred	
Is Formula	
Is First Level	
Is Visible	
Regular Expression	

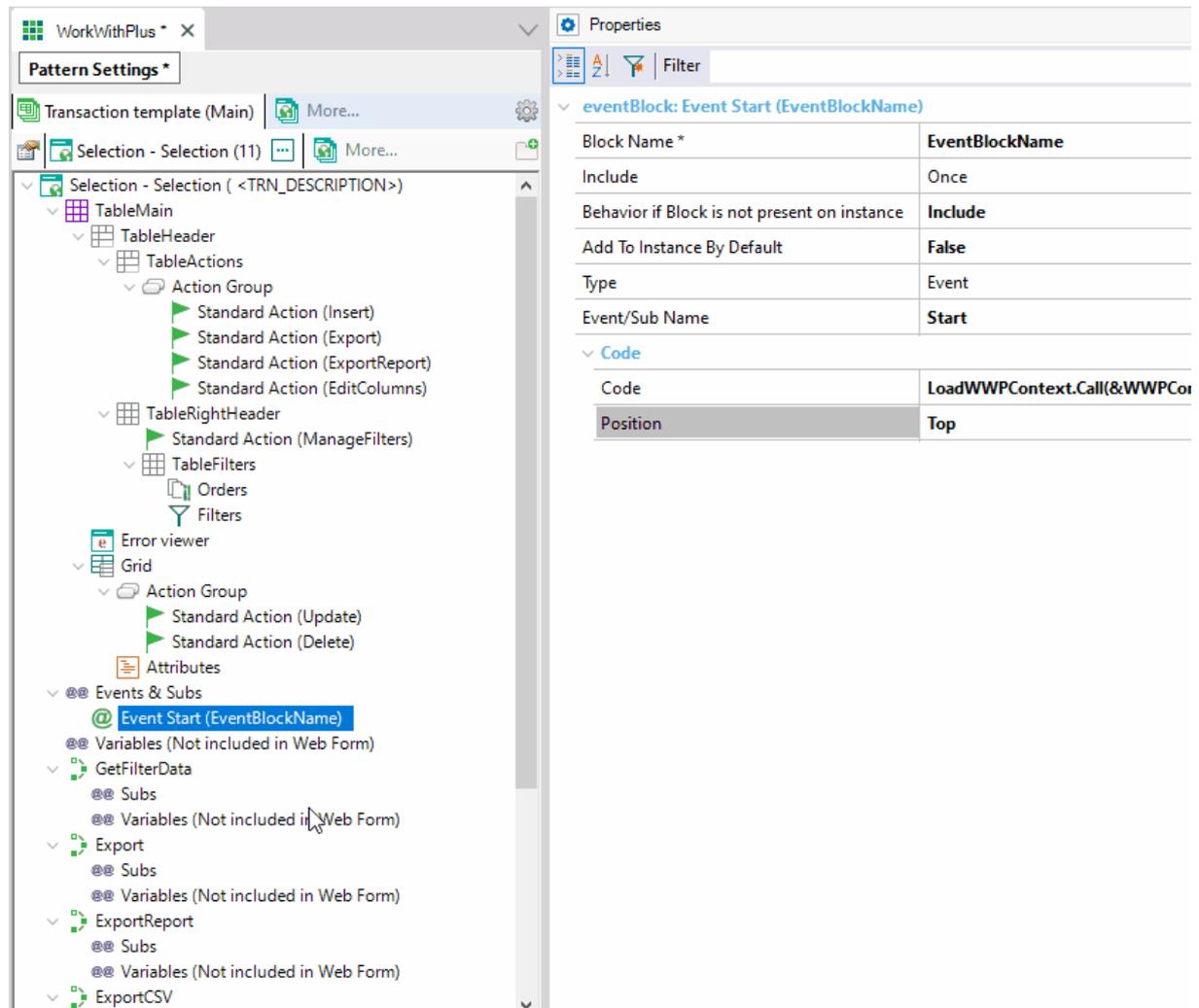
[Global automatic conditions]

[Global automatic conditions] を WorkWithPlus for Web Settings の構造内で利用できるようになり、条件ブロックをすべての Web パネル (List および Prompt) に追加する作業が簡単になりました。



特定のイベントブロックをグローバル イベント ブロックに移動するアクション

この新機能を使用すると、任意のテンプレートのイベントブロックを、グローバル イベント ブロックに移動できます。

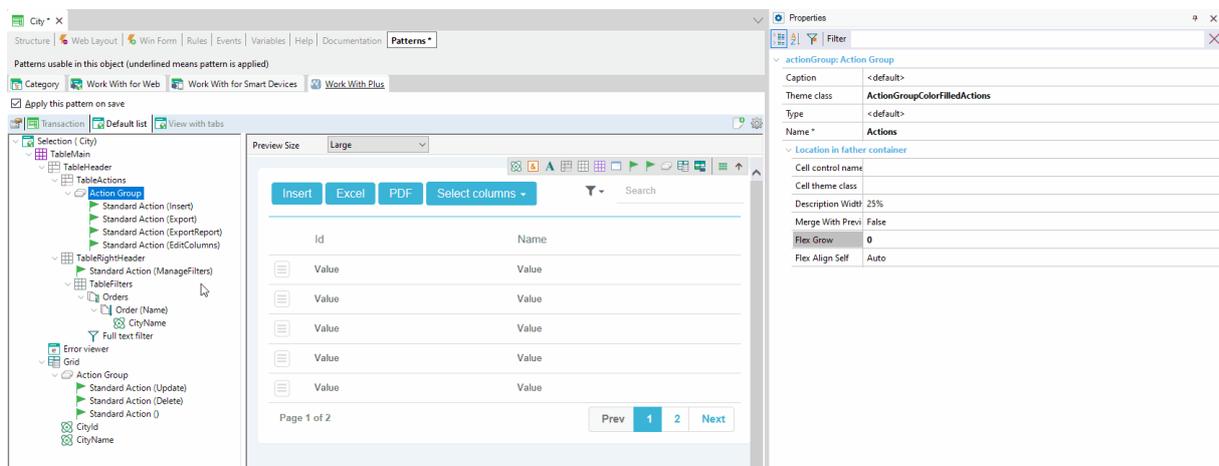


The screenshot displays the WorkWithPlus interface. On the left, the 'Pattern Settings' tree shows a hierarchy of components. Under 'Selection - Selection (<TRN_DESCRIPTION>)', there is an 'Event Start (EventBlockName)' block highlighted in blue. On the right, the 'Properties' panel for this block is shown, containing the following information:

eventBlock: Event Start (EventBlockName)	
Block Name *	EventBlockName
Include	Once
Behavior if Block is not present on instance	Include
Add To Instance By Default	False
Type	Event
Event/Sub Name	Start
Code	
Code	LoadWWPContext.Call(&WWPCo
Position	Top

Excel ファイルと CSV ファイルのデータのインポート

List から Excel ファイルと CSV ファイルをインポートできるようになりました。[Standard Action] に [ImportExcel] または [ImportCSV] を追加することで、データをリストにすばやく追加できます。



注意事項:

インポートを行うには、Excel ファイルまたは CSV ファイルの各列の最初の行が、リストのデスクリプションと一致している必要があります。

City

Other Options > Developer Menu > City

Insert

Excel

PDF

Select columns ▾

Import Excel

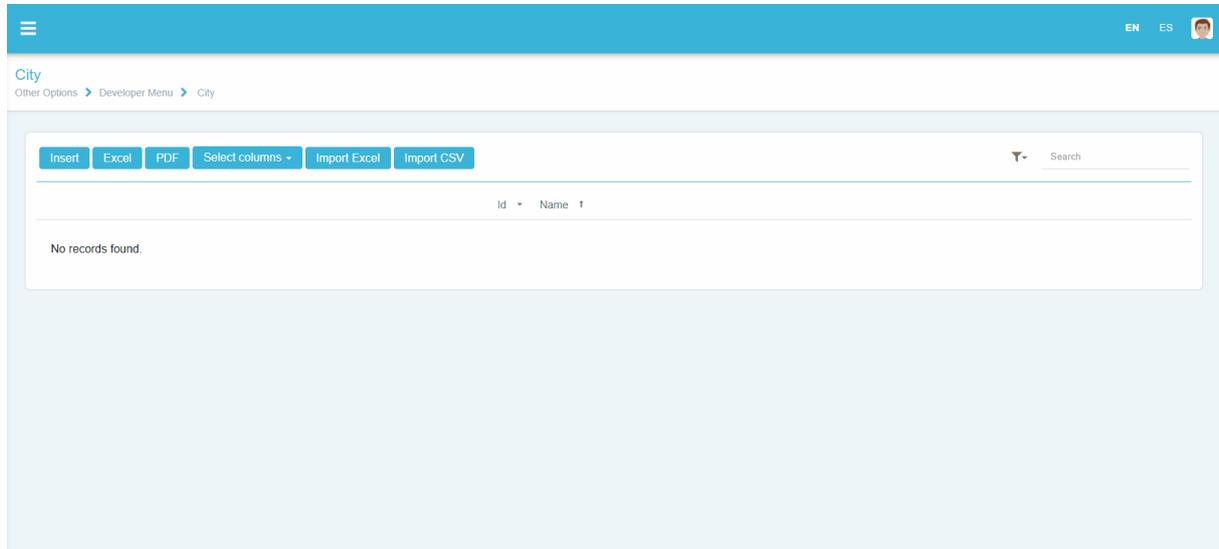
Import CSV

	Id ↑	Name ▾
☰	1	Ciloa
☰	2	Long Beach
☰	3	Chwaszczyno
☰	4	Fornos de Algodres
☰	5	Thionville
☰	6	Hajoho
☰	7	Arnhem
☰	8	Gopaan
☰	9	Kaiyuan
☰	10	Bitica
☰	11	Nurmo
☰	12	Paradela
☰	13	San Antonio de los Cobres
☰	14	Huangbizhuang
☰	15	Verrettes
☰	16	Kamiiso

	A	B	C
1	Id	Name	
2	1	Ciloa	
3	2	Long Beach	
4	3	Chwaszczyno	
5	4	Fornos de Algodres	
6	5	Thionville	
7	6	Hajoho	
8	7	Arnhem	
9	8	Gopaan	
10	9	Kaiyuan	
11	10	Bitica	
12	11	Nurmo	
13	12	Paradela	
14	13	San Antonio de los Cobres	
15	14	Huangbizhuang	
16	15	Verrettes	
17	16	Kamiiso	

Page 1 of

実行時の例:



CSV をインポートする際の制限事項:

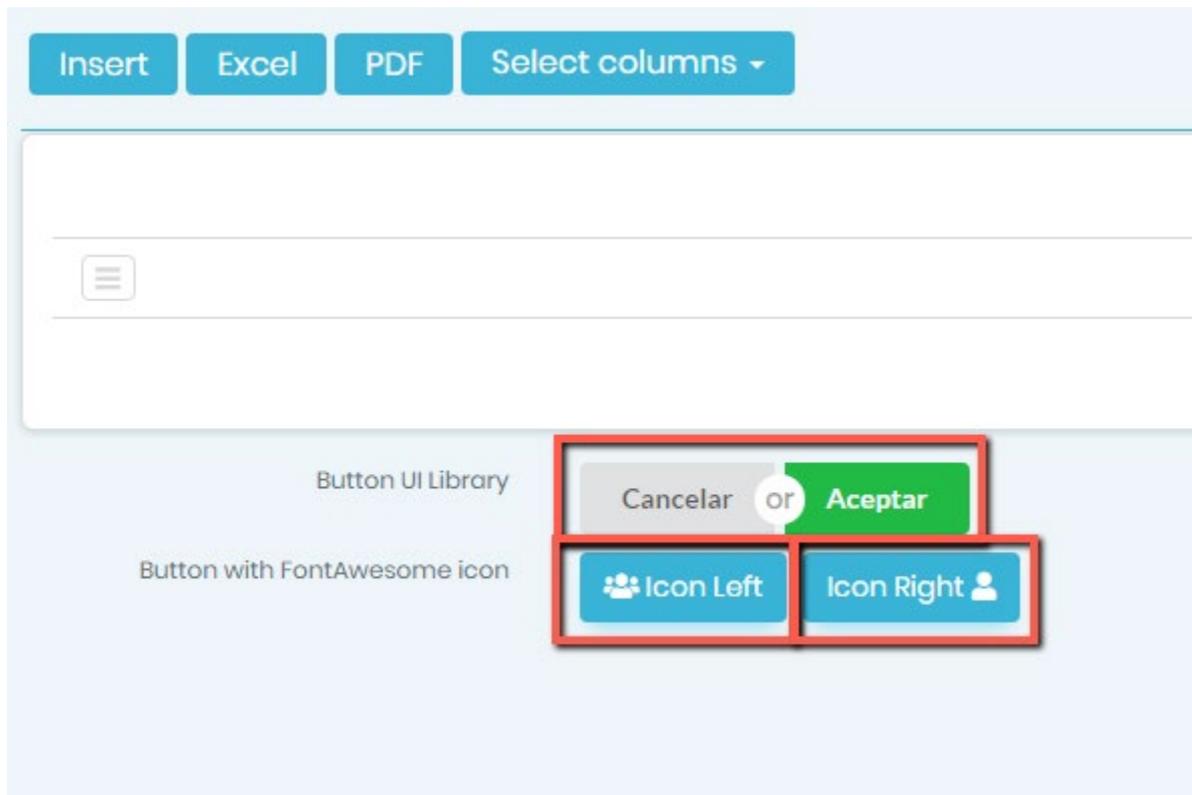
CSV ファイルをインポートするには、区切り文字がセミicolon (;) である必要があります。

User Control 2.0 を使用したアクションの表示

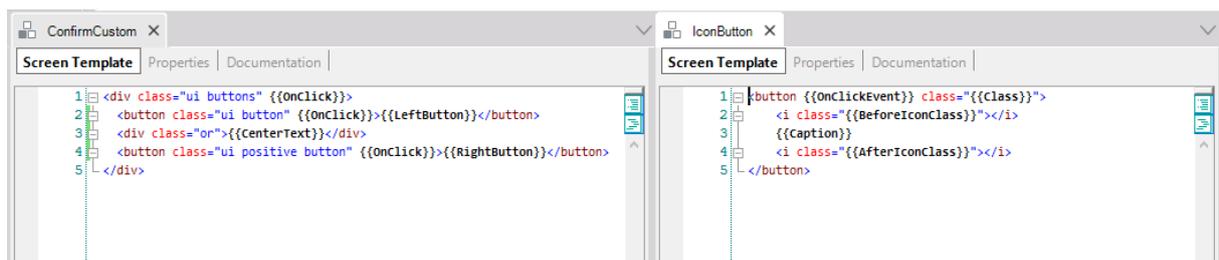
現在 WorkWithPlus for Web 14 では、User Control 2.0 を Standard Actions と User Actions に追加できるようになりました。

- Standard Actions: [Action Group] の外部と内部 ([WorkWithPlus for Web Settings] > [アクション] > [Standard Actions] で事前設定済み)。
- User Actions ([Action Group] の外部)

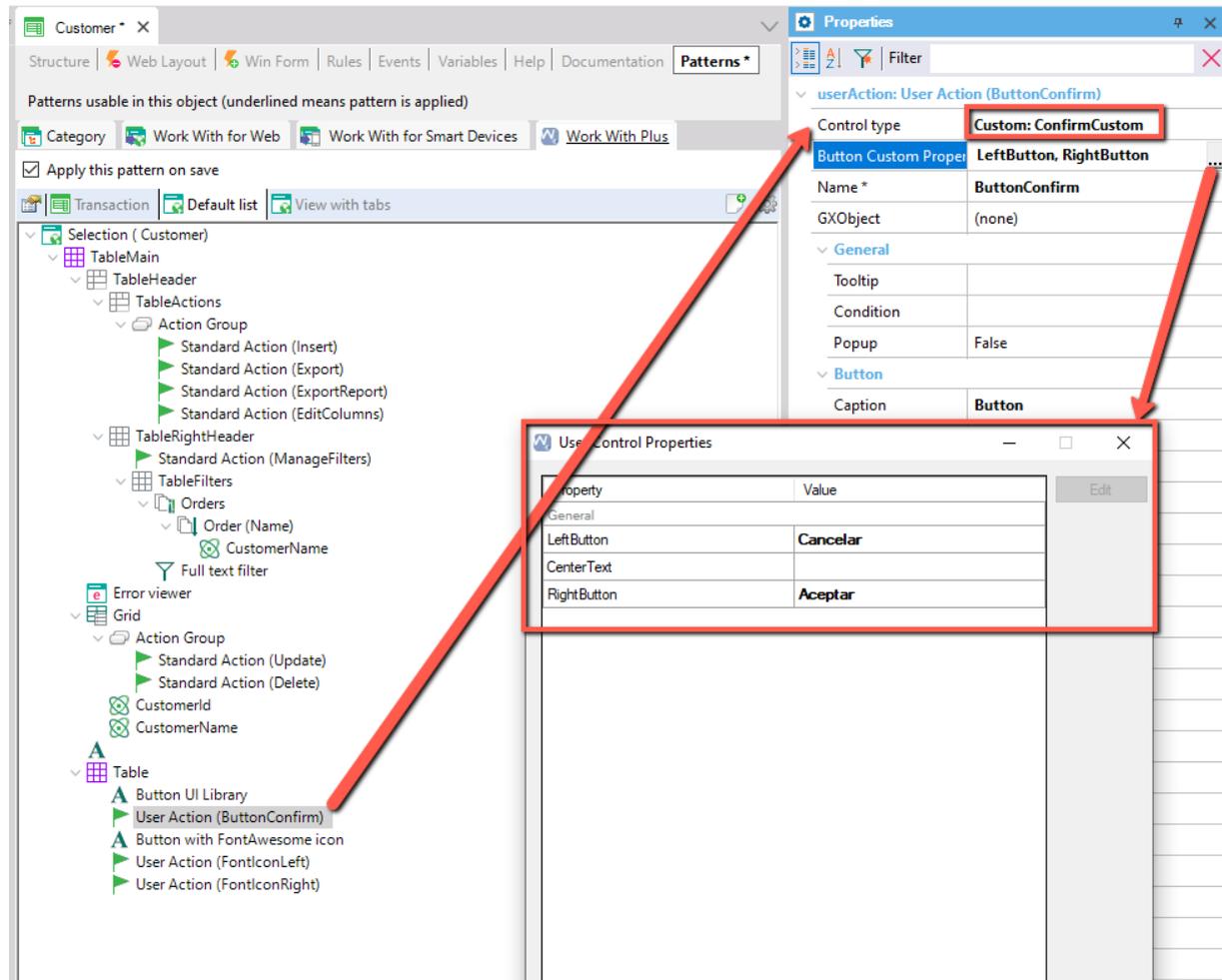
たとえば次の図では、セマンティック UI ライブラリと Font Awesome アイコンに、それぞれ User Control 2.0 を追加しています。



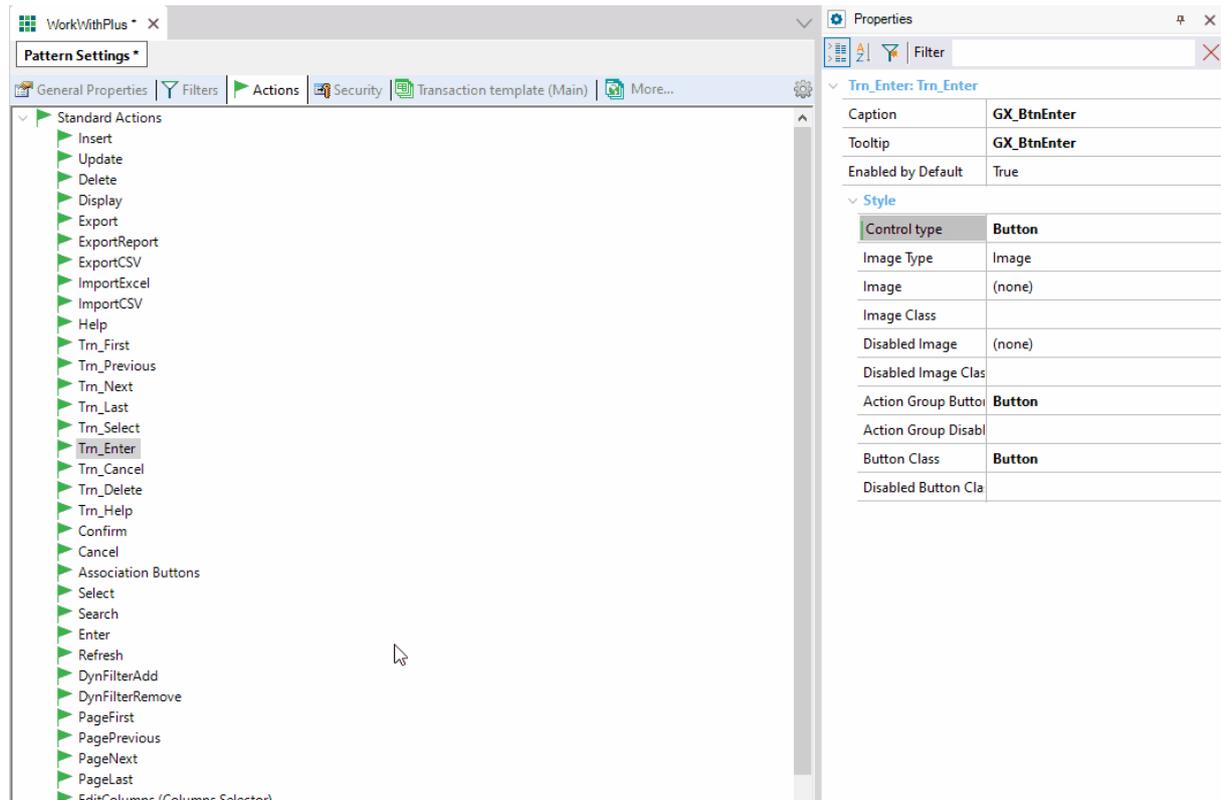
これを実現するには、[User Control 2.0 Wiki](#) で説明されているとおりに User Control 2.0 オブジェクトを定義する必要があります。



User Control を保存すると、[Control Type] プロパティで選択できるようになります。プロパティを設定するための [Custom:<UserControlName>] と [Button Custom Properties] が表示されます。



ここで Standard Actions の各プロパティを設定できます。



(ii) _

(iii) 重要:

Standard Actions に変更を加えた後、その変更を反映して適用するには、インスタンスの更新を実行する必要があります。これはツールバーにある [WorkWithPlus] > [for Web] > [パターンインスタンス] > [すべてのインスタンスを更新] から実行できます。

(iv) User Control の例のリンク:

ファイル: ConfirmCustomUserControl.rar

ファイル: IconButtonUserControl.rar

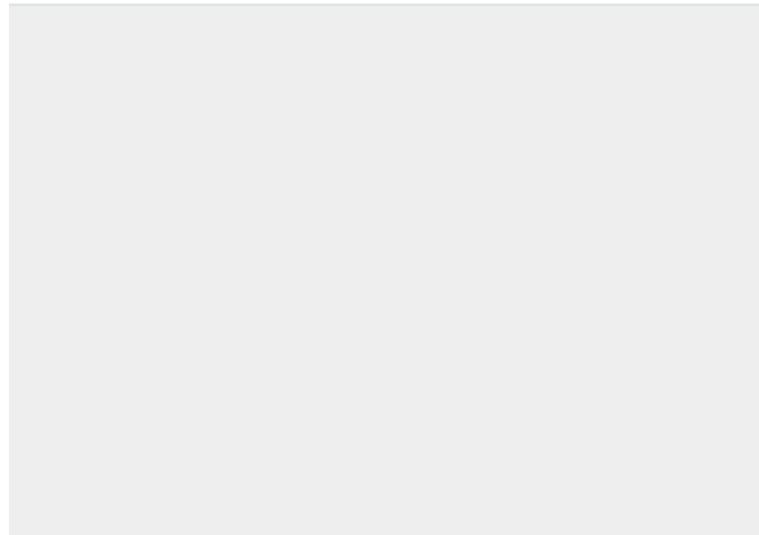
日付、日時、範囲の各フィールドの新しいユーザーコントロール

日付および日時フィールド用の新しいユーザーコントロールが追加されました。このコントロールにより、エンドユーザーが日付に関する情報を入力する際のユーザーエクスペリエンスが向上します。

BIRTH DATE *

STATE

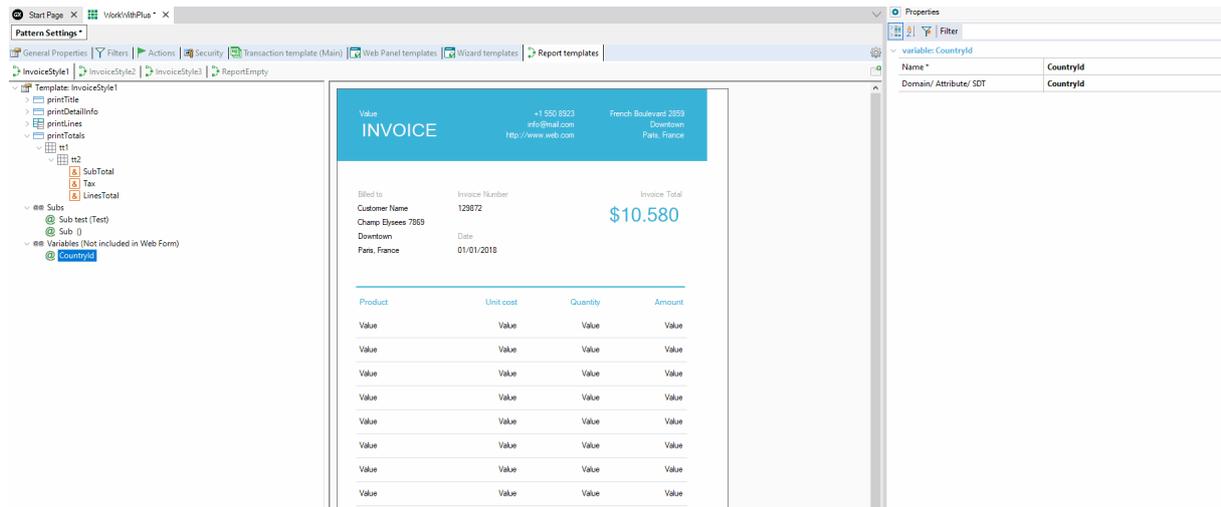
 ▼

BIRTH DATE ▾	GENDER ▾	FULL NAME ▾
01/24/83	Male	Friedman2 Nicolas delayed order new
02/25/97	Male	Peterson Johao new
12/21/75	Male	Garcia Michael
03/04/81	Male	McCloney Paul
09/05/87	Male	Carlsen John new
04/03/75	Male	Herrera Leif
01/02/52	Male	Herrera Nicholas
02/06/74	Female	Hemingway Eugenia
05/04/78	Male	Herrera Michael new
01/11/84	Male	Hault Sebastian

このコントロールをナレッジベースのすべての日付と日時のフィールドに使用することで、日付の範囲の外観および操作感を統一することができます。

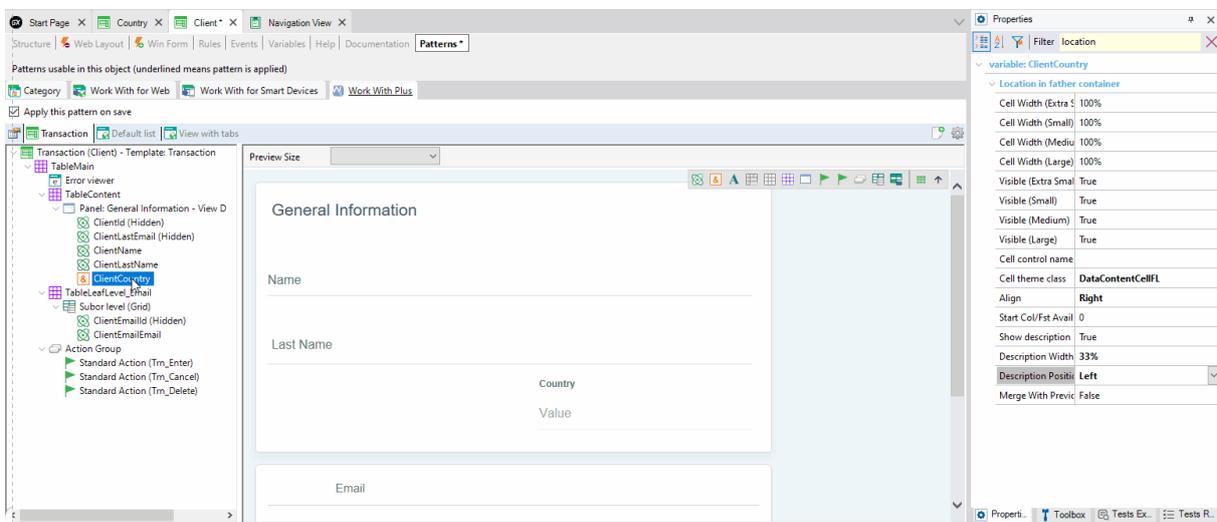
レポートテンプレートのイベントブロックと変数

WorkWithPlus for Web 14 では、イベントブロックと変数をレポートテンプレートに追加できます。

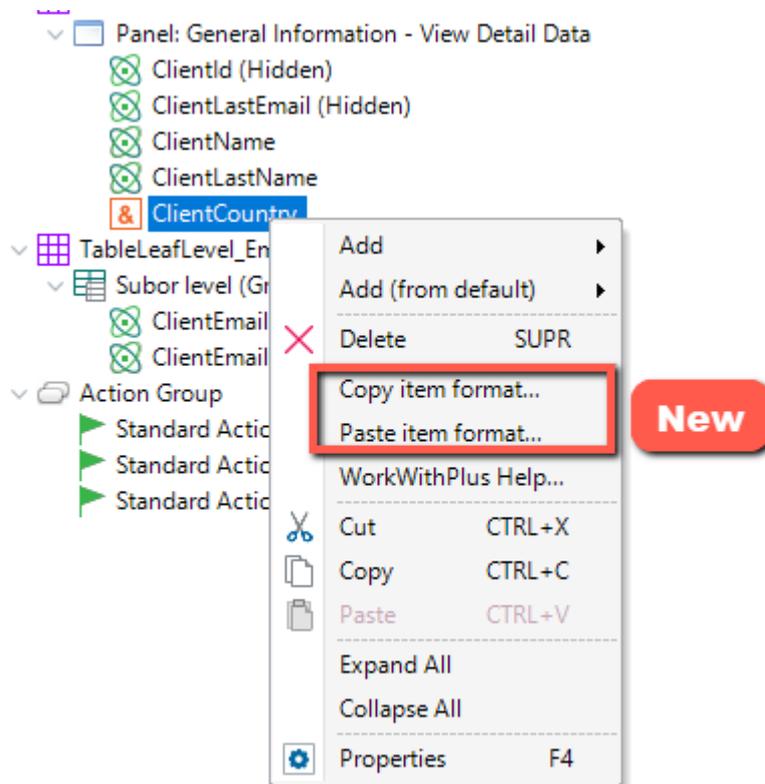


項目属性/変数の書式のコピー/貼り付け

WorkWithPlus for Web 14 では、項目属性/変数の書式をコピーし、ほかの項目属性/変数に貼り付けることができます。これにより、プロパティを個別に変更しなくても画面をすばやくフォーマットできます。



項目属性/変数のコンテキストメニューに、次のプロパティが追加されています。



[アイテムのフォーマットをコピー...]	項目属性/変数をフォーマットするプロパティをコピーします。
[アイテムのフォーマットをペースト...]	項目属性/変数をフォーマットするプロパティを貼り付けます。

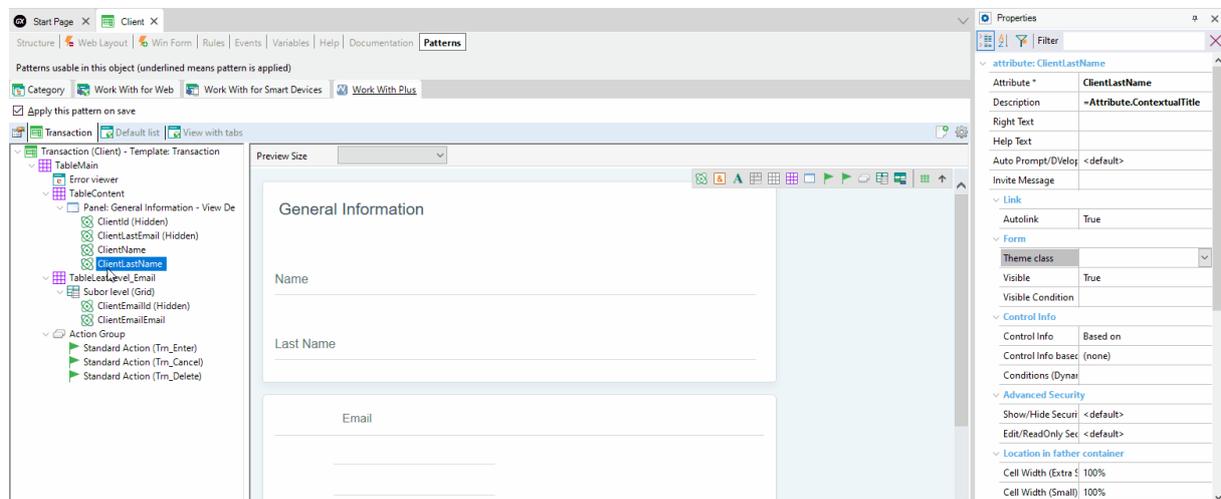
項目属性を変数に変換する

WorkWithPlus インスタンス内にある項目属性に新しい機能が追加されました。[項目属性を変数に変換] を右クリックするだけで項目属性を変数に変換できるようになりました。

インスタンス内にあるすべてのタブで項目属性を変換できます。

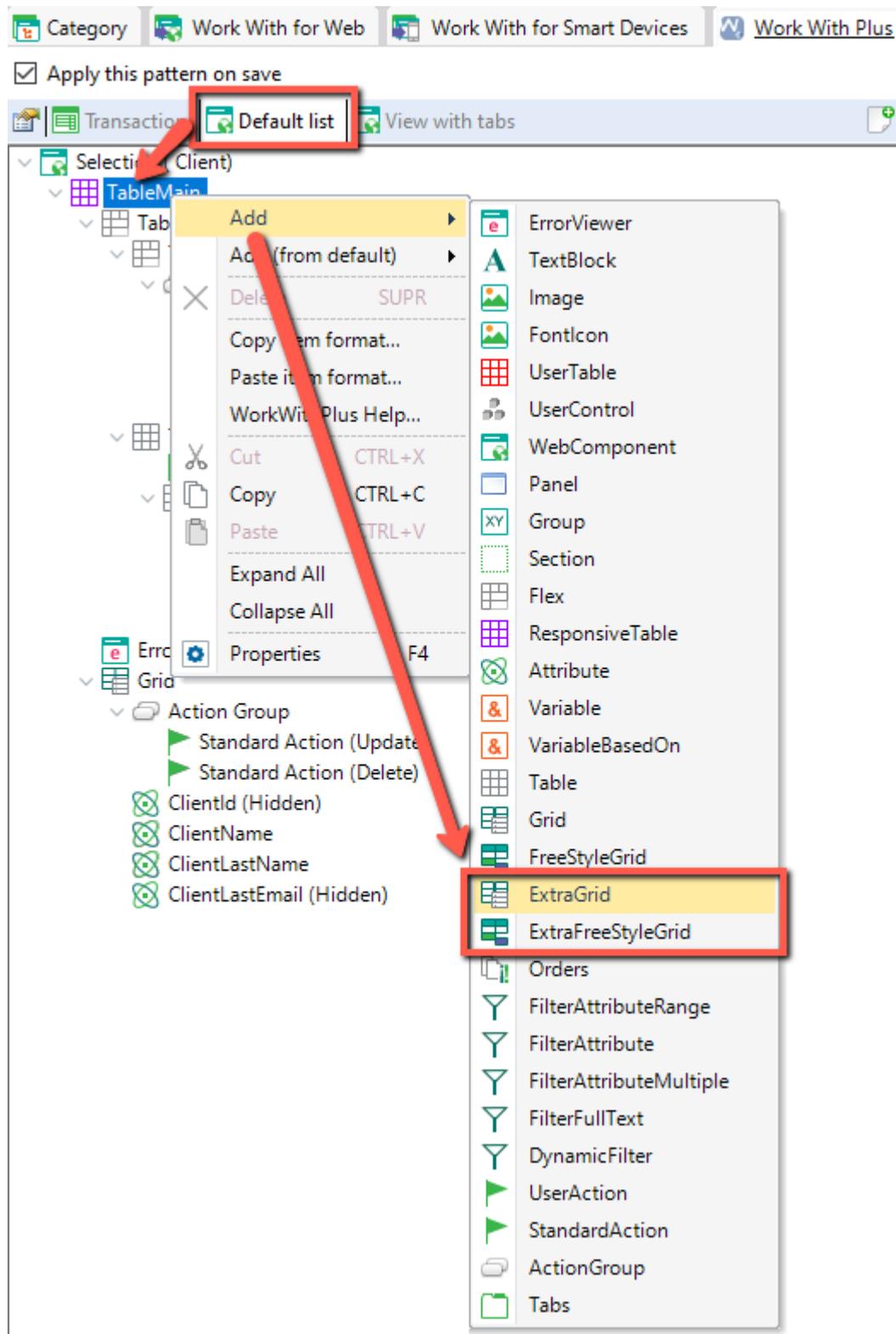
この変数は、次のプロパティで変換されます。

プロパティ	値
[Name]	<AttributeName>
[Description]	=Attribute.ContextualTitle
[Data Type]	[Based on]
[Domain/ Attribute]	<AttributeName>



List のオブジェクトにて Extra グリッドの追加

WorkWithPlus for Web 14 では、List のオブジェクトにさらにグリッドを追加できます。



グリッドの項目属性の [Visible Condition] プロパティ

グリッドの項目属性に [Visible Condition] プロパティが追加されました。このプロパティでは、項目属性を表示するか非表示にするかを決定する条件を指定できます。

フィルタの [Visible Condition] プロパティとセキュリティ

すべての種類のフィルタに [Visible Condition] プロパティと [Security Functionality Key] プロパティが追加されました。

[Visible Condition] プロパティでは、フィルタを表示するか非表示にするかを決定する条件を指定できます。

[Security Functionality Key] プロパティでは、フィルタの表示権限を追加できます。

[Select All Pages] プロパティでの全ページのレコード選択をサポート

[Select All Pages] プロパティをクリックしたときに、(表示されているレコードのみではなく) グリッドの全ページを選択するかどうかを選択するオプションが追加されました。

これは設計時に [WorkWithPlus for Web Settings] > [Template] ノード > [Select All Pages] プロパティで定義し、ナレッジベースのすべての MultiRowSelection アクションとグリッドに適用されます。